

IDWR

静岡県

2025年第33 週(8 月 11 日～8 月 17 日)

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2025年8月 22 日公開)

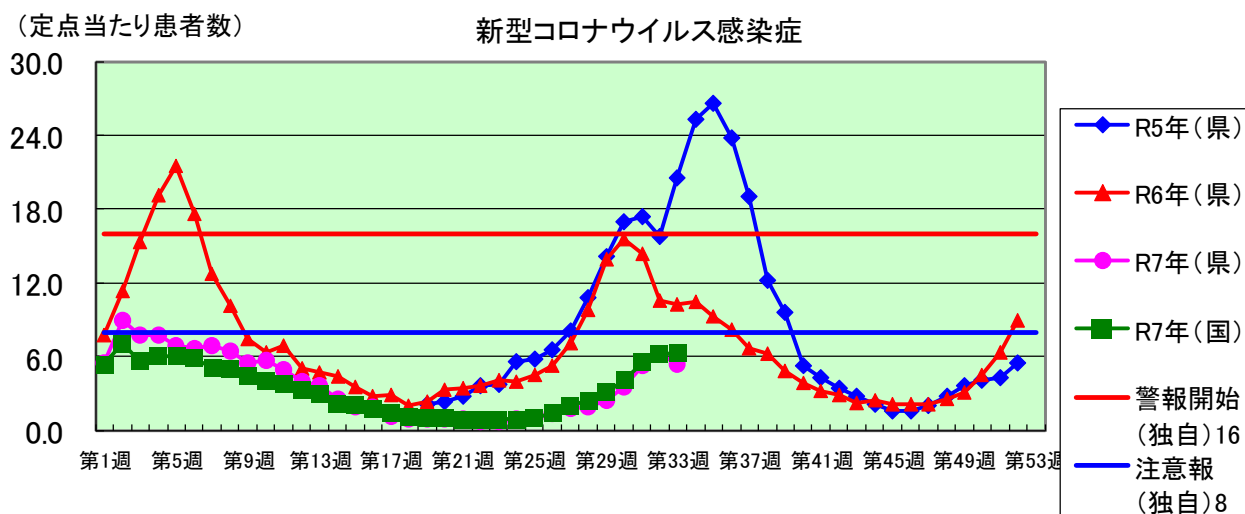
新型コロナウイルス感染症は連続して急増し、夏の流行期へ

(第33 週 5.4)

第3週(1月13日～19日)の定点当たり患者数は7.77と注意報基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しました。第3週以降、定点当たり患者数は8人台から1人前後へゆっくり下がってきました。第18週(4月28日～5月4日)以降は1人未満が続いていましたが、第23週(6月2日～8日)より増加に転じ、第25週(6月16日～22日)以降は1人を超え、第29週(7月14日～20日)に2人を超えました。その後、前週比約1.2倍から1.4倍の増加が続き、第32週(8月4日～10日)に6.27まで上昇しました。県は、今年も夏の流行期に入ったと考えています。第33週はいったん減少しましたが、今後、再度、感染が拡大する可能性も考えられます。ただし、患者数の規模は、現時点では、昨夏の半分弱です(昨夏は第30週(7月22日～28日)がピークで15.60でした)。

県民の皆様には、改めて、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。

県内の新型コロナウイルスの変異株の状況は、今年2月以降、流行している株がKP.3系統からXEC系統に徐々に入れ替わってきましたが、4月頃から新たにNB.1.8.1系統が県内でも検出され、6月にはゲノム解析件数が4件と少ないですが、全てNB.1.8.1系統でした。現時点ではNB.1.8.1系統によって重症者が増えるという情報はなく、県内のコロナの入院患者数も少ない状況です。



RS ウイルス感染症は再増加しています(第33 週 1.02)

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数が、第 10 週において 1.07 人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、第 5 週(1 月 27 日～2 月 2 日)に 0.64 で、0.5 を超え、第10週(3月3日～9日)と第11週(3月10日～16日)に1台になり、その後も 0.5～0.8 付近を推移していましたが、第 19 週は 0.2 台に下がりました。その後は0.1台の週が多くなっていましたが、第 27 週(6月30 日～7月6日)以降は0.2台となり、第 29 週(7 月 14 日～20日)は0.4台に増加し、第 33 週(8 月 11 日～17 日)には再び 1 を超えました。春の流行が小規模でしたので、今後しばらく発生数が増加し、秋頃まで流行が続く可能性があります。県内の患者の年齢は、80%以上が 2 歳以下です。

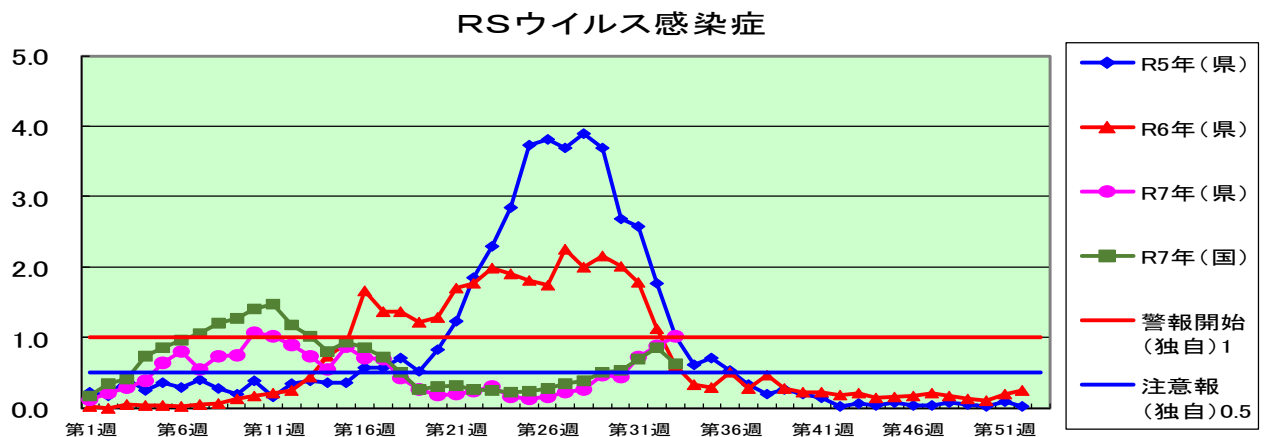
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に 2 か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



百日咳が流行しています(第33 週 40 人)

第6週(2/3～)以降、1週間に1～2人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第14週(3/31～4/6)に5人となり、第15週(4/7～4/13)は21人と急増しました。その後は第20週(5月12日～18日)までは20人前後が続いた後、第21週(5月19日～25日)に40人まで増えてからは毎週増加し、**第28週(7/7～7/14)は84人となり、全数把握感染症となった2018年以降の最高値を更新しました。(それまでの過去最高値は、2025年第26週(6/23～6/29)80人です。)**学校が夏休みに入り、発生数は徐々に減少してきましたが、40～70人台まがが続いています。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

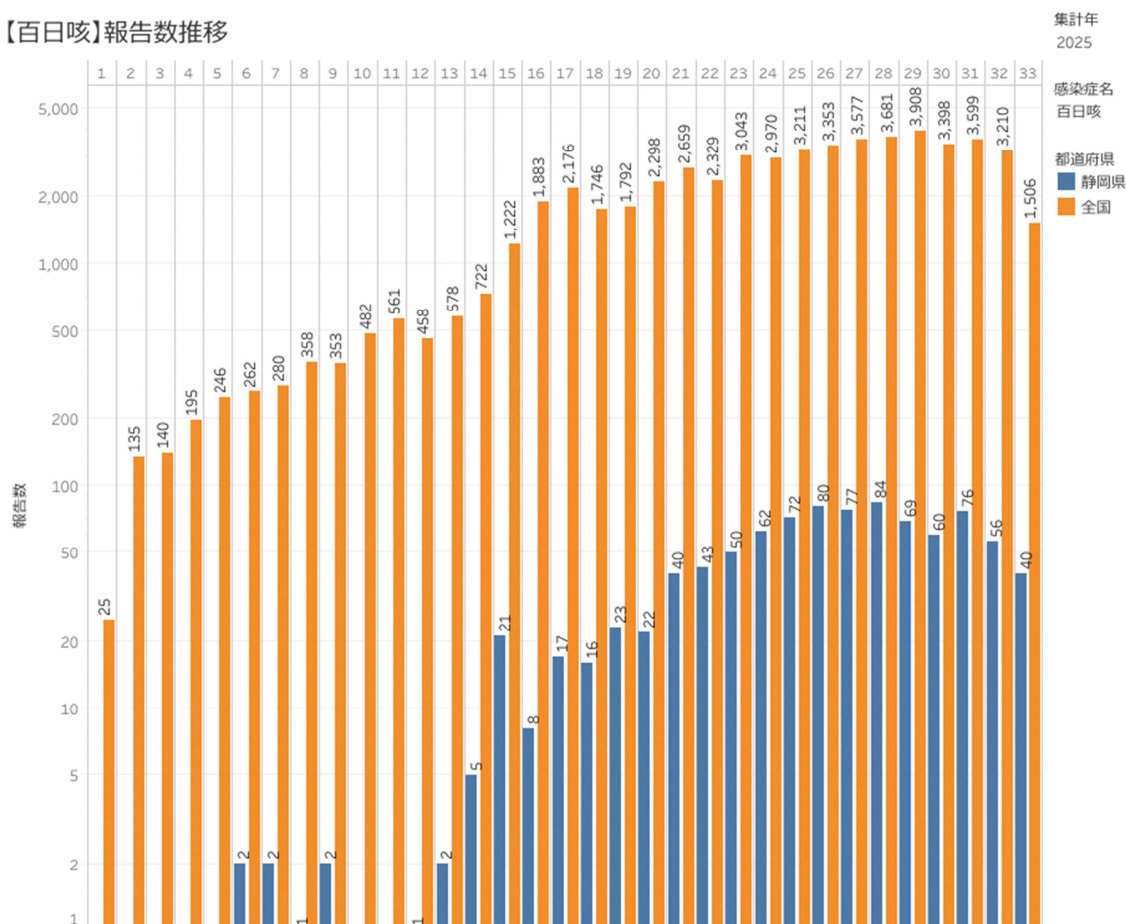
年齢分布では10～14歳が最多で、続いて15～19歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

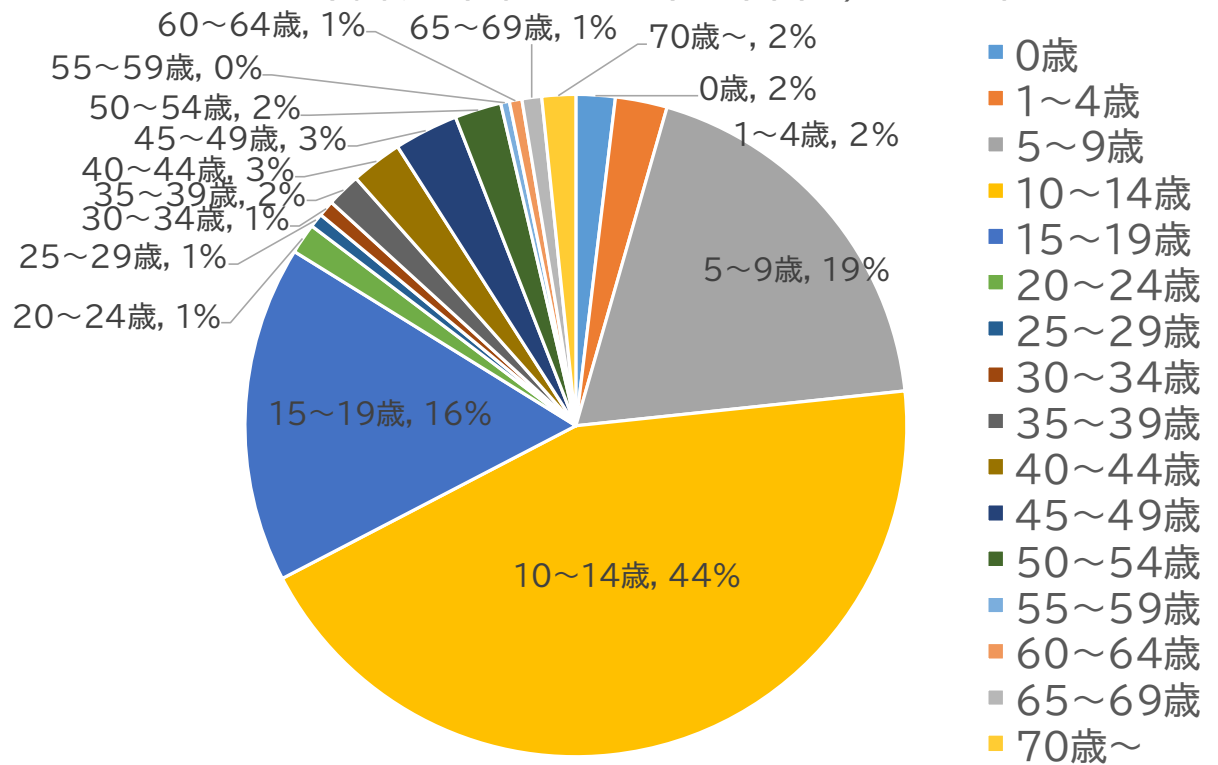
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/pertussis.html>

【百日咳】報告数推移



年齢分布(2025年 累計1,149人)



伝染性紅斑の警報レベルが継続しています(第33 週 1.7)

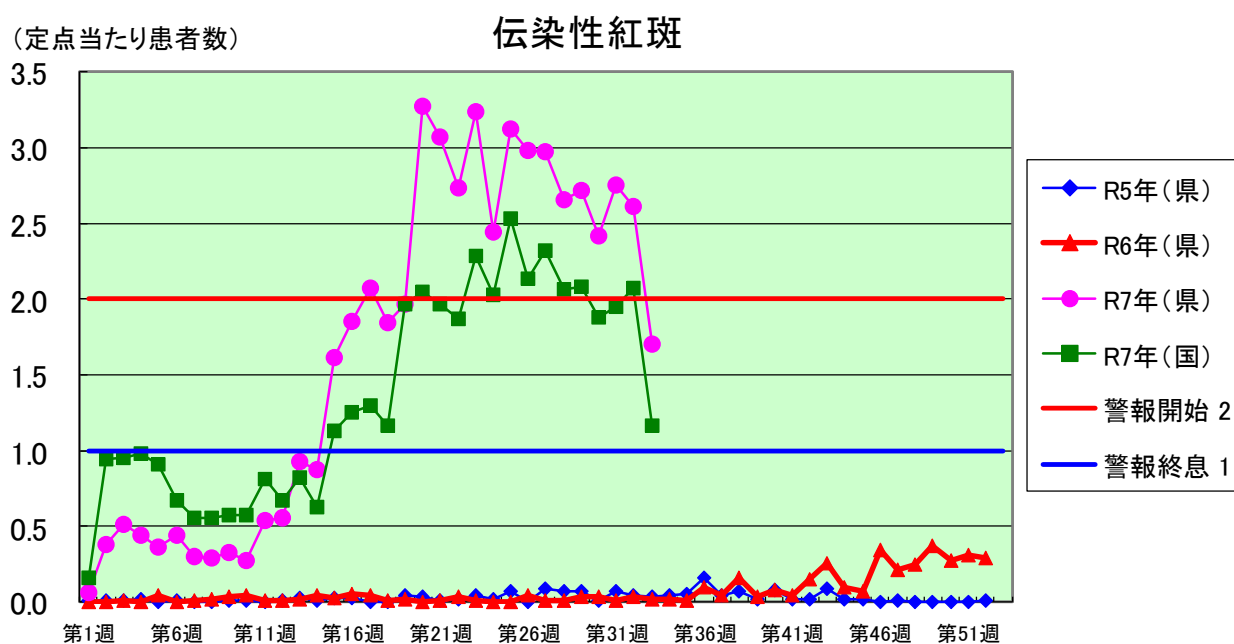
伝染性紅斑が、第3週(1/13～1/19)の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週(4/21～4/27)に警報基準値の2を超えました。(警報レベルは終息基準値の1を下回るまで継続しますので、現時点も警報レベルです。)

警報レベルとなったのは、2011年第25週(6/21～6/27)以来で、その時は第28週(7/12～7/18)まで継続しました。**2025年第20週には3.27となり、記録が残る2006年以降の最高値となりました。(これまでの過去最高値は、2011年第25週(6/20～6/26)の2.57です。)**

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



マイコプラズマ肺炎が流行しています(第33 週 0.7)

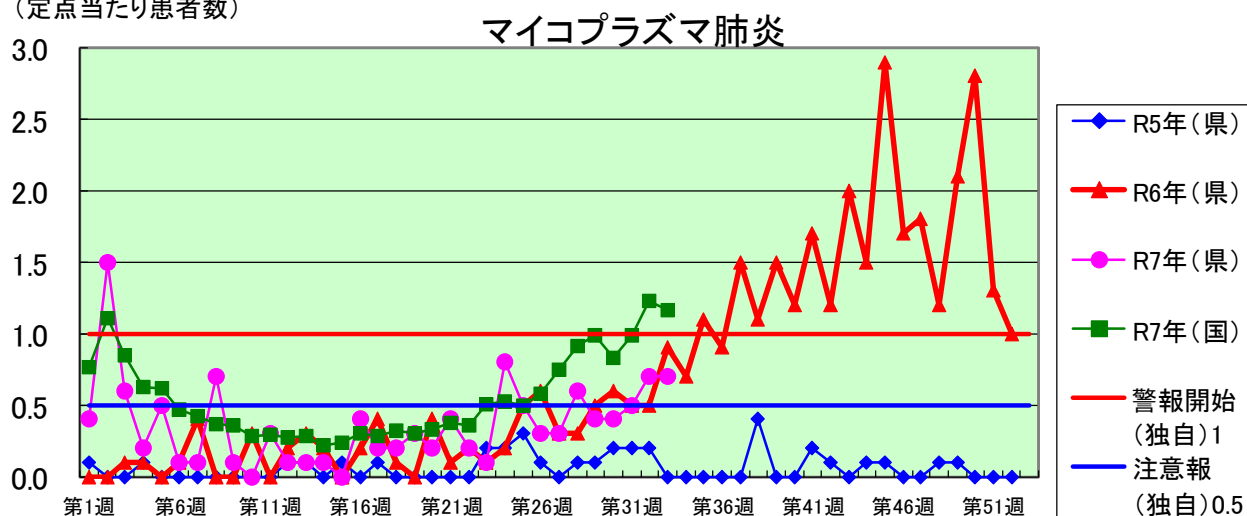
マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起きます。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14 歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024 年第 29 週(7/15～7/21)以降、定点当たり患者数※0.5 以上が続き、第 35 週(8/26～9/1)は 1.1 となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5 以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019 年第 51 週(12/16～12/22)以来です。)

今年 2025 年に入ってから、第 2 週(1月 6 日～12 日)に 1.5 まで上昇しましたが、その後は 0～0.8(平均 0.3)で推移しています(第33 週は 0.7)。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1、2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

(定点当たり患者数)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	東部	1
		静岡市	1
		西部	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	浜松市	5
		中部	1
		西部	1
4類感染症	レジオネラ症	東部	1
		中部	2
		西部	1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 百日咳	東部	1
		熱海	2
		東部	9
		御殿場	2
		富士	1
		静岡市	9
		中部	1
		浜松市	16

保健所別の警報状況

警 報 伝染性紅斑(熱海、東部、御殿場、静岡市、中部、西部、浜松市)

注意報 新型コロナウイルス感染症(熱海)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査

令和7年第33週(8/11～8/17)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

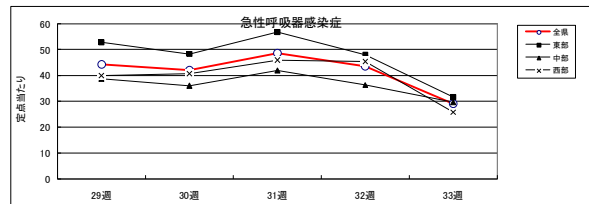
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第33週(8/11～8/17)の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症(ARI)の定点当たり報告数は29.04人となり、前週の43.56人から減少しました。伝染性紅斑の定点当たり報告数は1.7人となり、前週の2.61人から減少し、第20週から13週連続で続いていた警報レベルの開始基準値2を下回りました。

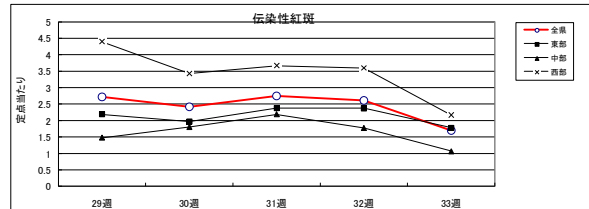
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数4,037、定点当たり29.04の患者発生があり、前週の43.56から減少した。定点当たり東部地区で31.58、中部地区で29.69、西部地区で25.77の患者が発生した。



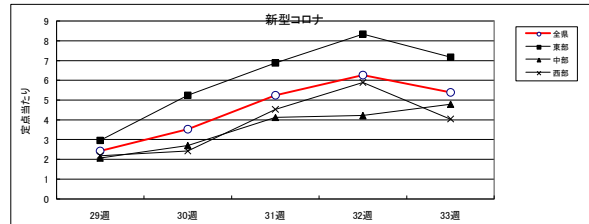
【伝染性紅斑】

全県で罹患数151、定点当たり1.7の患者発生があり、前週の2.61から減少した。定点当たり東部地区で1.78、中部地区で1.07、西部地区で1.17の患者が発生した。西部地区で、警戒レベルの開始基準値2を越えている。



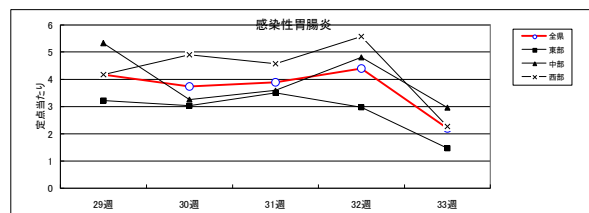
【新型コロナ】

全県で罹患数750、定点当たり5.4の患者発生があり、前週の6.27から減少した。定点当たり東部地区で7.18、中部地区で4.79、西部地区で4.04の患者が発生した。



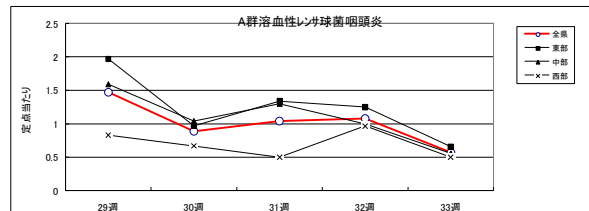
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数195、定点当たり2.19の患者発生があり、前週の4.4から減少した。定点当たり東部地区で1.47、中部地区で2.96、西部地区で2.27の患者が発生した。



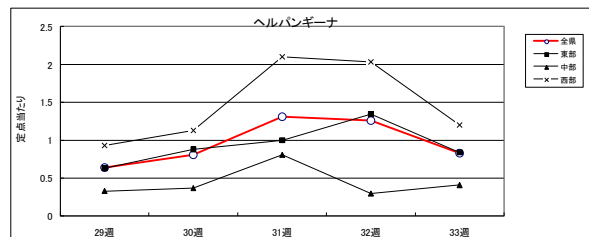
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数51、定点当たり0.57の患者発生があり、前週の1.08から減少した。定点当たり東部地区で0.66、中部地区で0.56、西部地区で0.5の患者が発生した。



【ヘルパンギーナ】

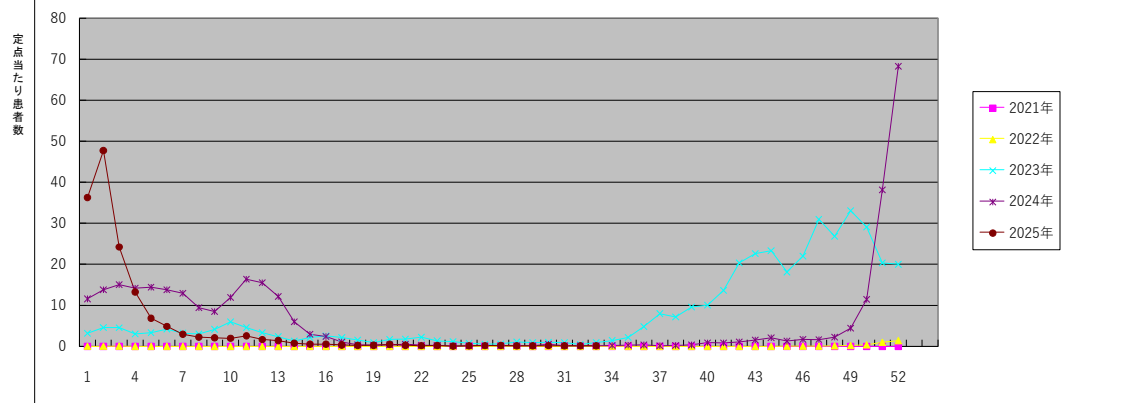
全県で罹患数74、定点当たり0.83の患者発生があり、前週の1.26から減少した。定点当たり東部地区で0.84、中部地区で0.41、西部地区で1.2の患者が発生した。



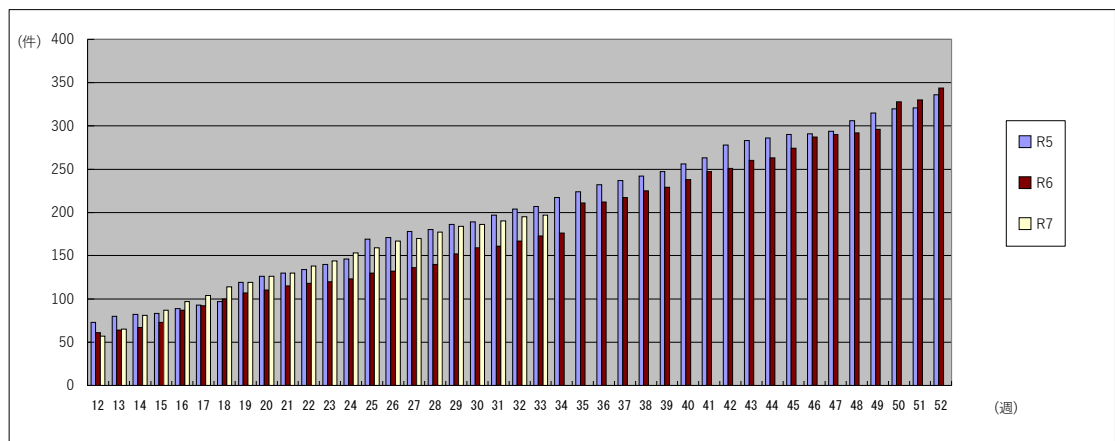
【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は0.28で前週の0.3から若干減少した。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は6.3で前週の6.13から増加した。
- ・静岡県において第33週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(29.04)、2)新型コロナ(5.4)、3)感染性胃腸炎(2.19)、4)伝染性紅斑(1.7)、5)RSウイルス(1.02)、6)ヘルパンギーナ(0.83)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況（静岡県・累計）】
・第33週は前年同期比1.14倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

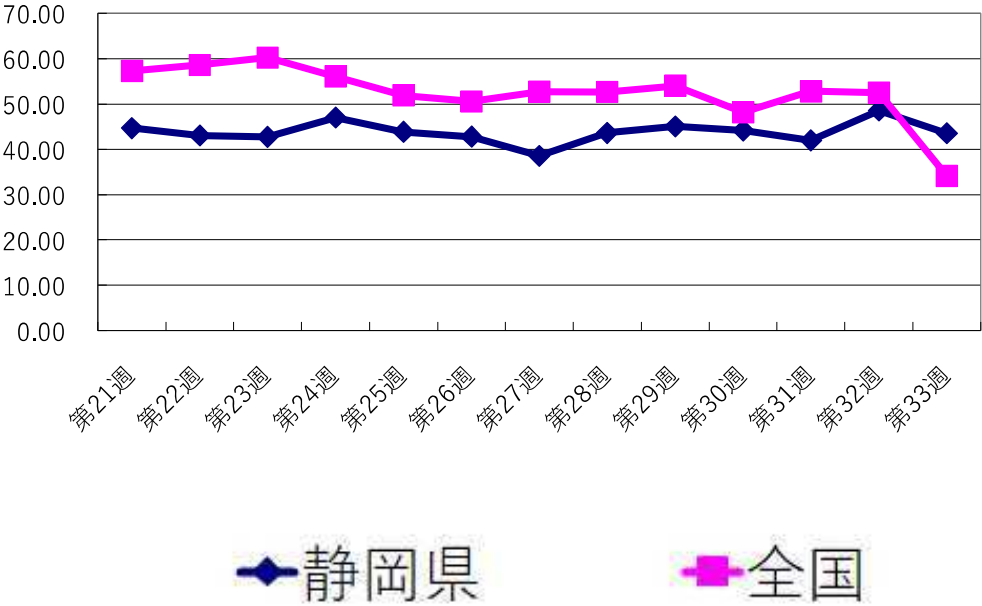
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

急性呼吸器感染症(ARI)報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	4,037	29.04
賀茂	53	17.67
熱海	200	33.33
東部	674	33.70
御殿場	366	61.00
富士	286	19.07
静岡市	700	28.00
中部	547	32.18
西部	598	31.47
浜松市	613	21.89

(全国 34.14)

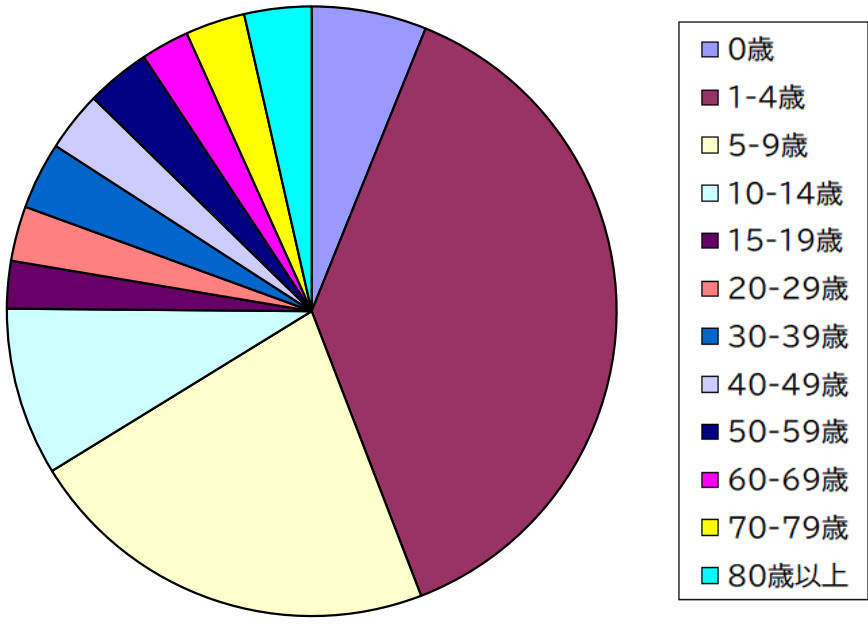
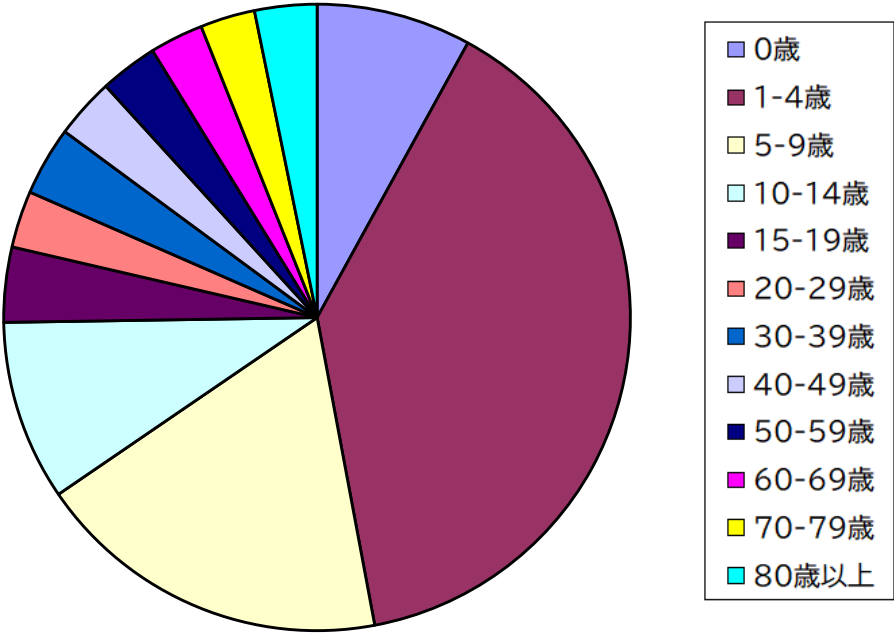


	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週
静岡県	43.07	42.80	47.03	43.86	42.81	38.58	43.65	45.07	44.19	41.98	48.58	43.56	29.04
全国	57.29	58.63	60.24	56.07	51.93	50.58	52.71	52.66	54.03	48.20	52.82	52.49	34.14

急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)

2025年第28週～第33週の合計(7/7～8/17)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	7.8%	39.1%	18.7%	9.4%	3.8%	2.9%

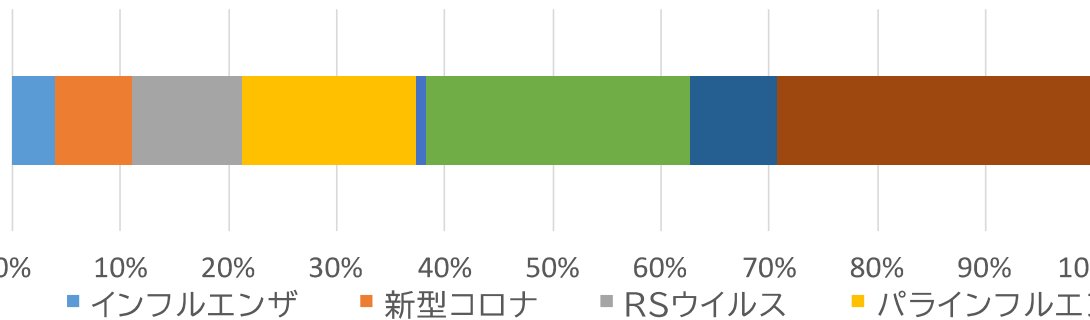
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%	3.2%

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	6.1%	38.1%	22.1%	8.9%	2.5%	2.9%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.6%	3.2%	3.4%	2.5%	3.2%	3.6%

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の 検査結果について(18歳未満)

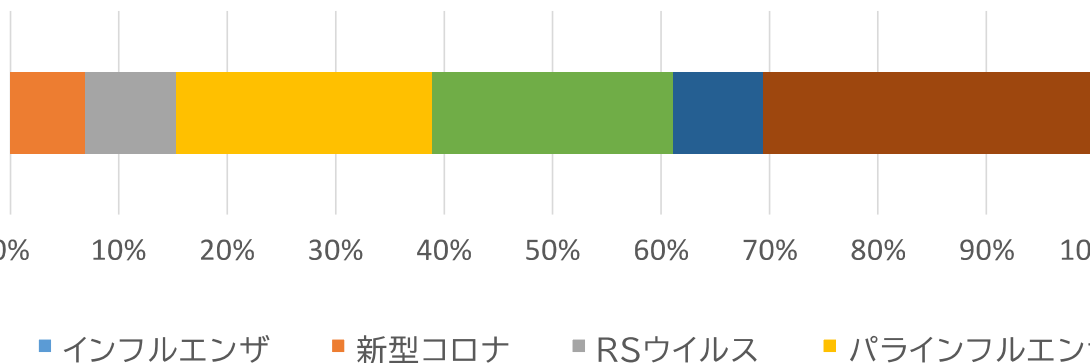
検出割合、検出数合計は2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)
検出割合(18歳未満)



病原体	インフル エンザ	新型 コロナ	RS ウイルス	パライン フルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	4.0%	7.1%	10.1%	16.2%	1.0%	24.2%	8.1%	29.3%
検出数合計	4	7	10	16	1	24	8	29

検出割合、検出数合計は2025年第28週～第33週の合計(7/7～8/17)

検出割合(18歳未満)

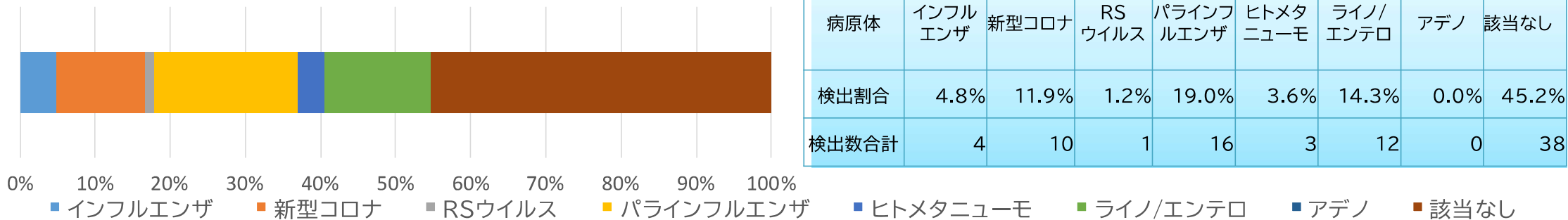


病原体	インフル エンザ	新型 コロナ	RS ウイルス	パライン フルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	0.0%	6.9%	8.3%	23.6%	0.0%	22.2%	8.3%	30.6%
検出数合計	0	5	6	17	0	16	6	22
2025年 33週	0	0	0	2	0	2	0	3

■ インフルエンザ ■ 新型コロナ ■ RSウイルス ■ パラインフルエンザ ■ ヒトメタニューモ ■ ライノ/エンテロ ■ アデノ ■ 該当なし

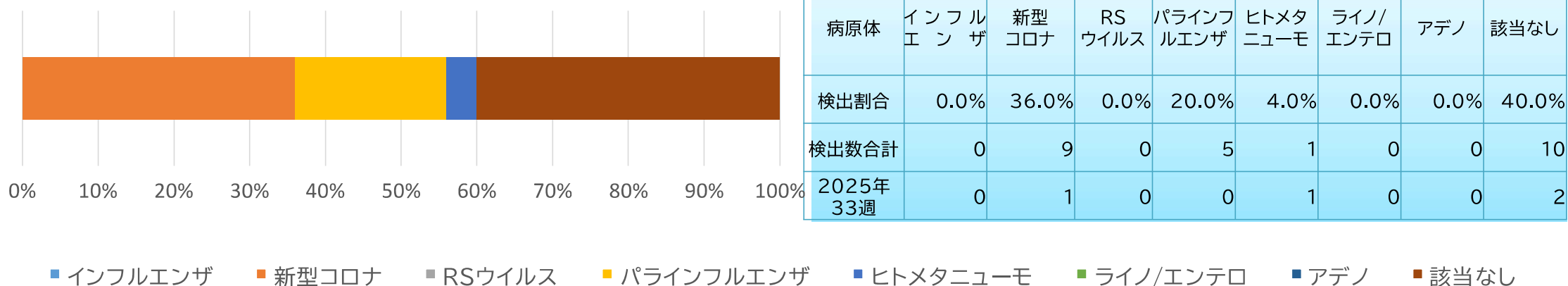
県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の 検査結果について(18歳以上)

検出割合、検出数合計は2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)
検出割合(18歳以上)

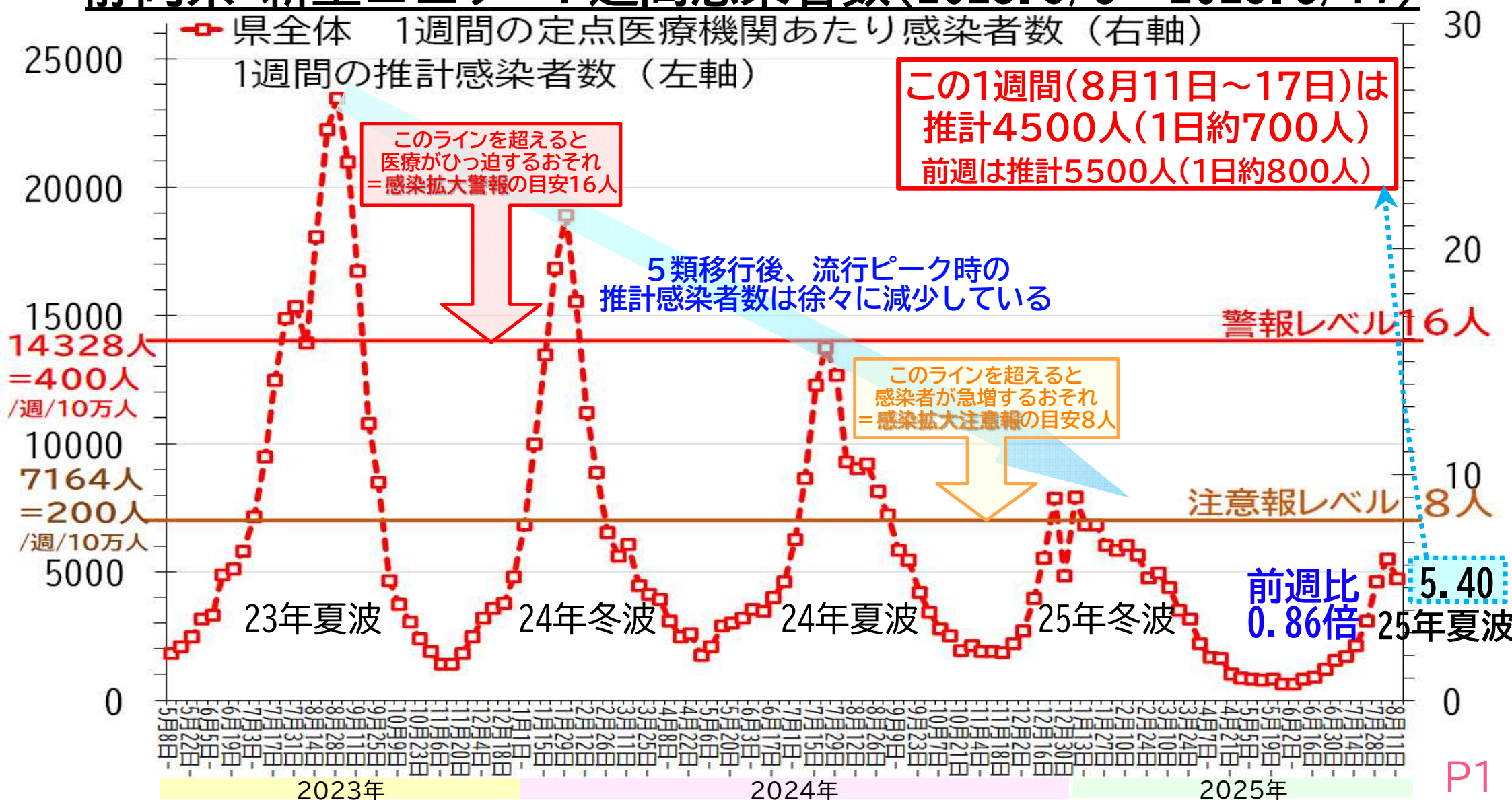


検出割合、検出数合計は2025年第28週～第33週の合計(7/7～8/17)

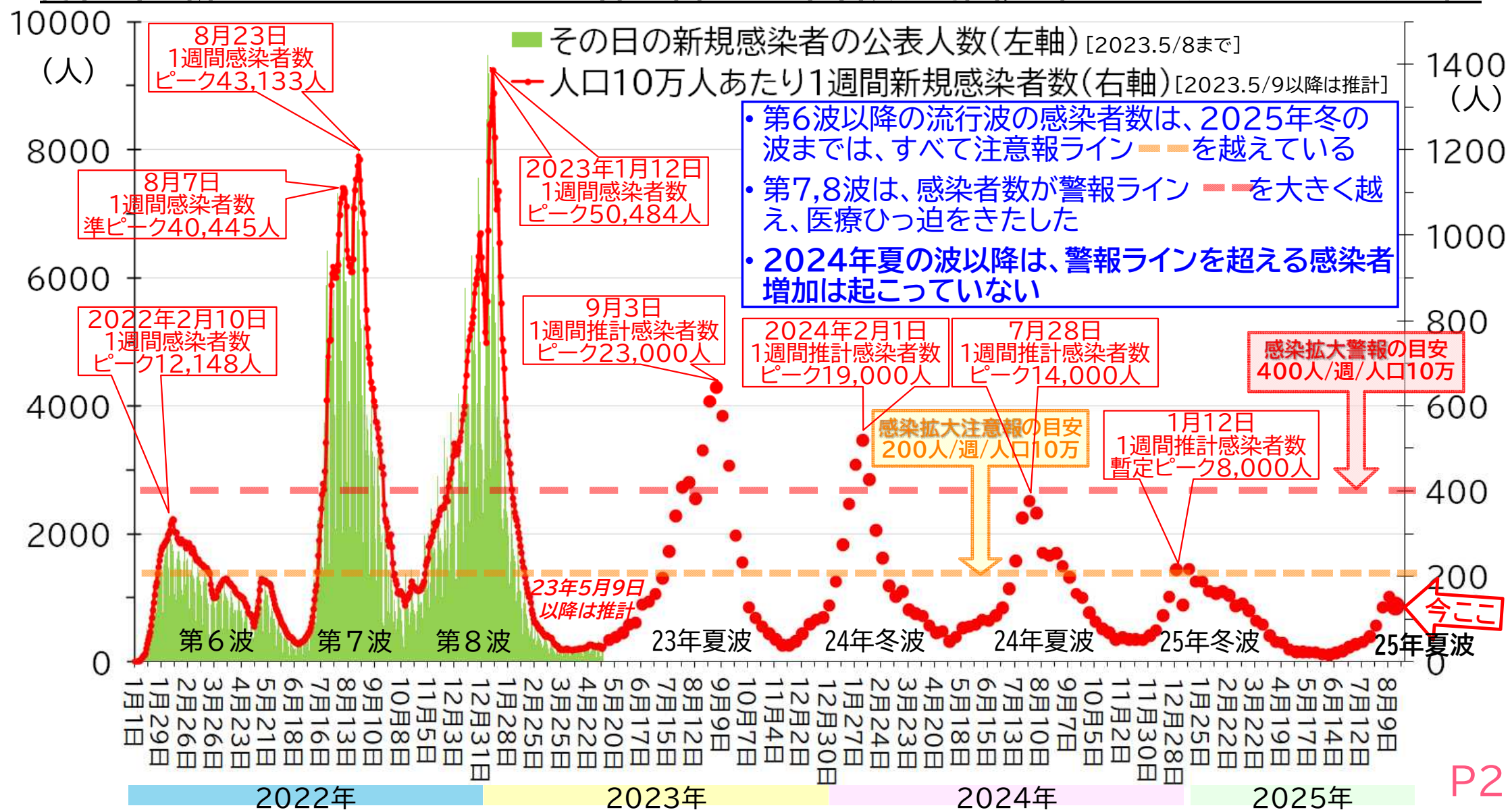
検出割合(18歳以上)



静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2025.8/17)

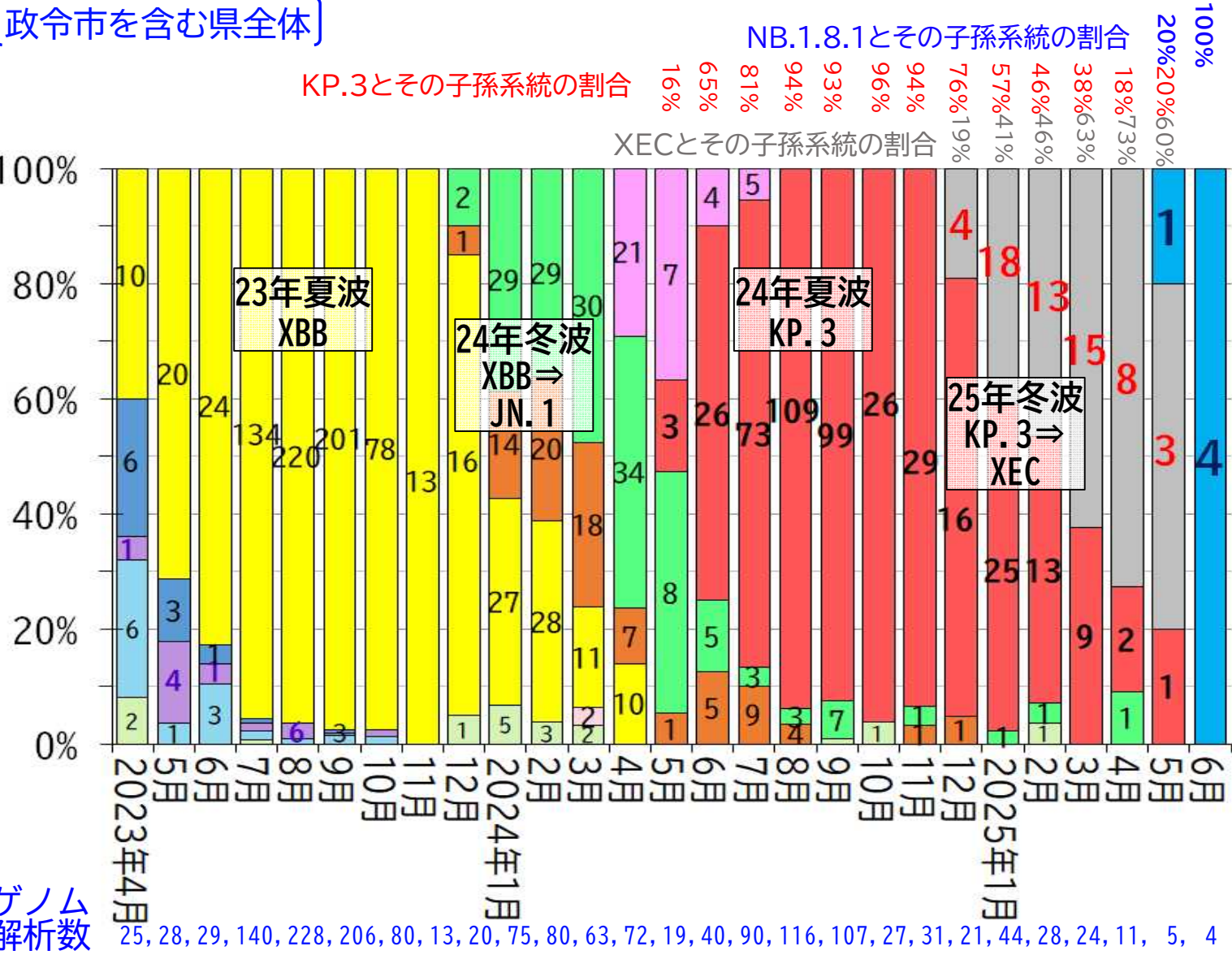


静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2025.8/17)



静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.4月～2025.6月)

[政令市を含む県全体]



- WHOや国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025年6月)では県全体で、**BA.2.86系統が4検体**検出されたが、すべてが**NB.1.8.1系統**だった
- ゲノム解析結果は各月で示しているが、例えば4月分は、だいたい3月下旬から4月中旬に結果が判明したものを集計している

■ NB. 1. 8. 1とその子孫系統

■ XECとその子孫系統

■ XDQ. 1とその子孫系統

■ KP. 3とその子孫系統

■ JN. 1とその子孫系統

■ JN. 1, KP. 3以外のBA. 2. 86系統

■ XBB系統

■ BQ. 1系統

■ BS. 1系統

■ BA. 2. 75系統

■ その他のBA. 5

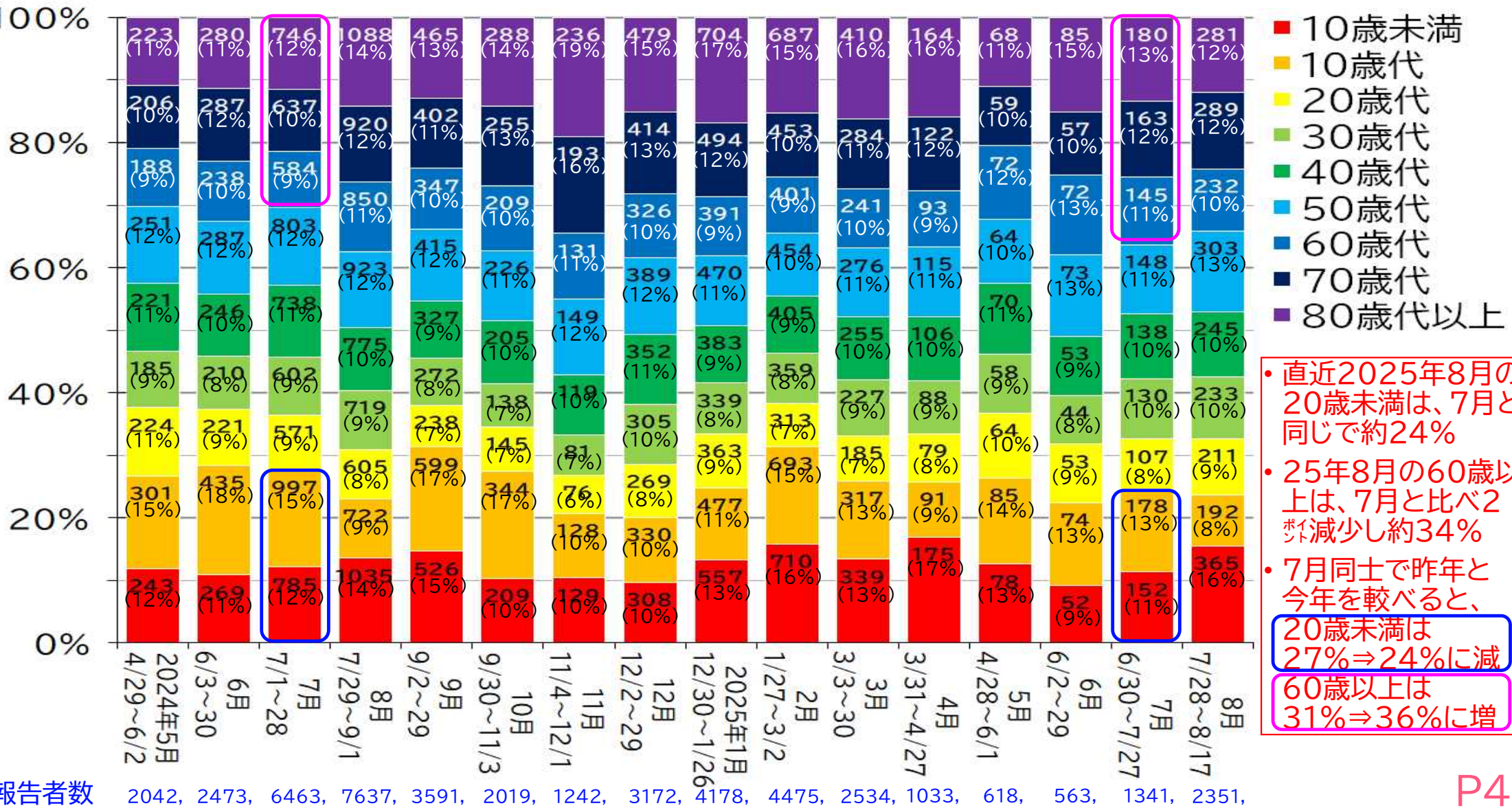
■ その他のBA. 2

■ その他の組替体

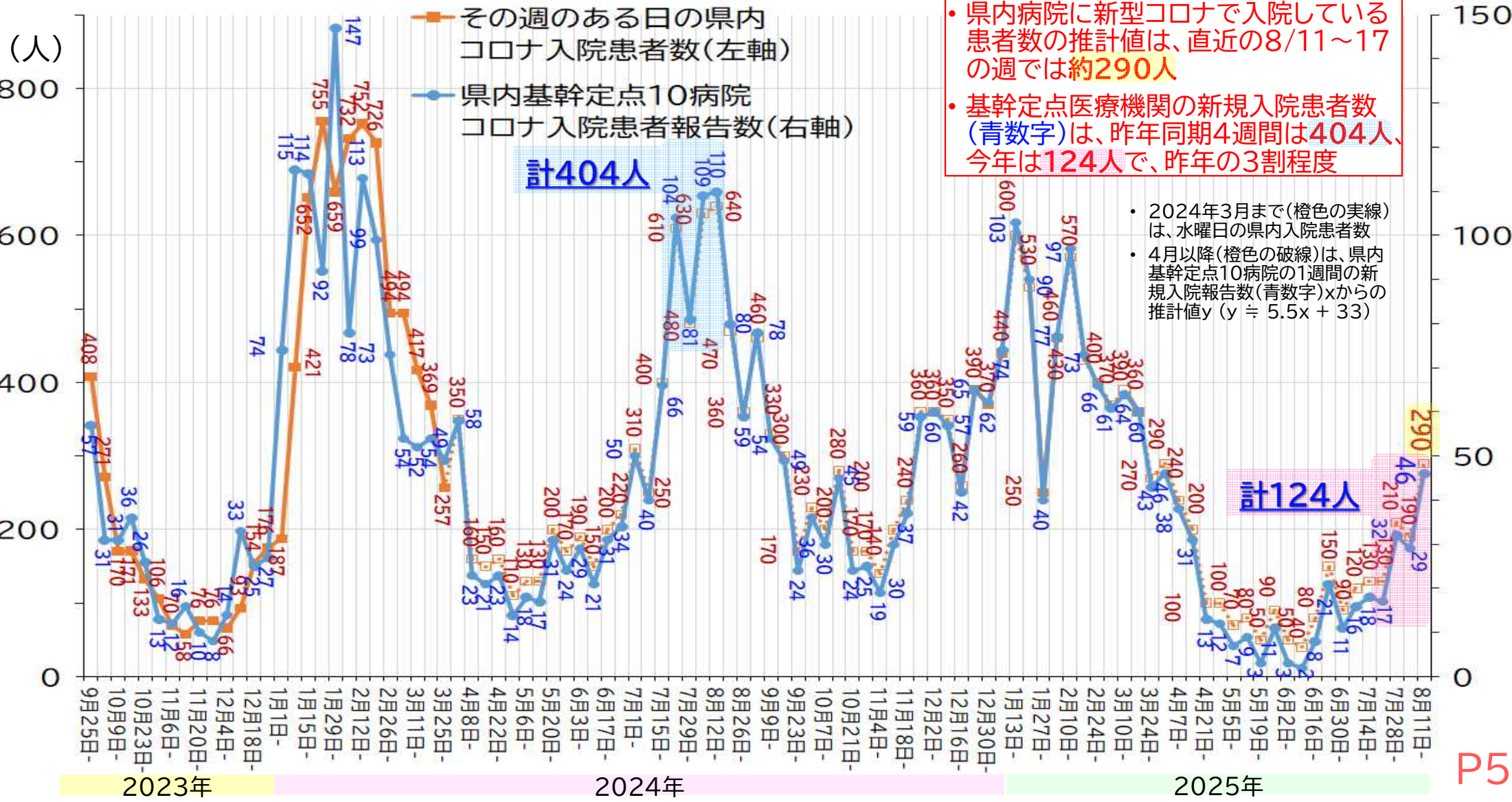
20%20%60%

100%

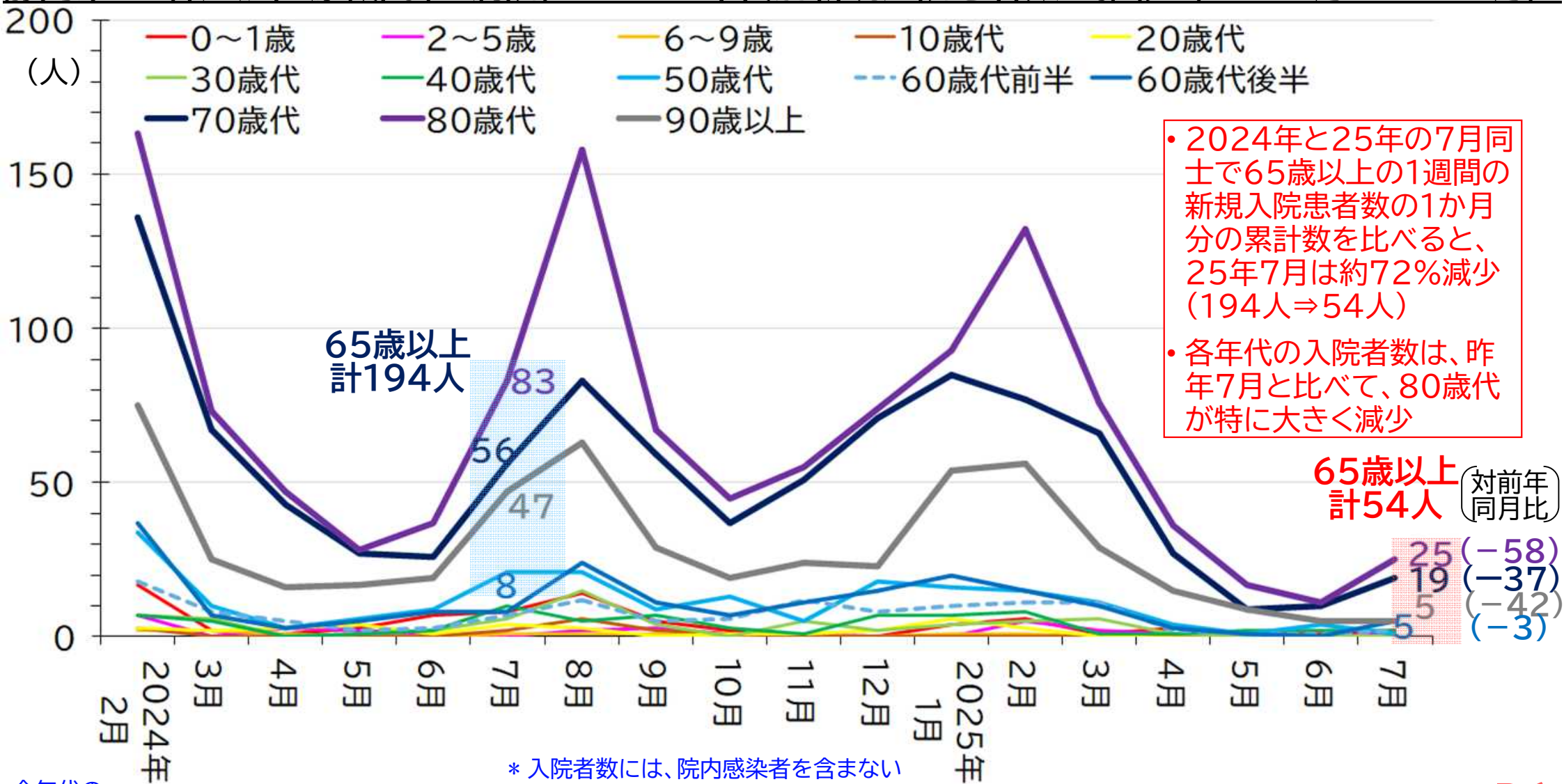
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024. 4/29～2025. 8/17)



静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024. 4/1~2025. 8/17)



静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移 (2024. 2月～2025. 7月)

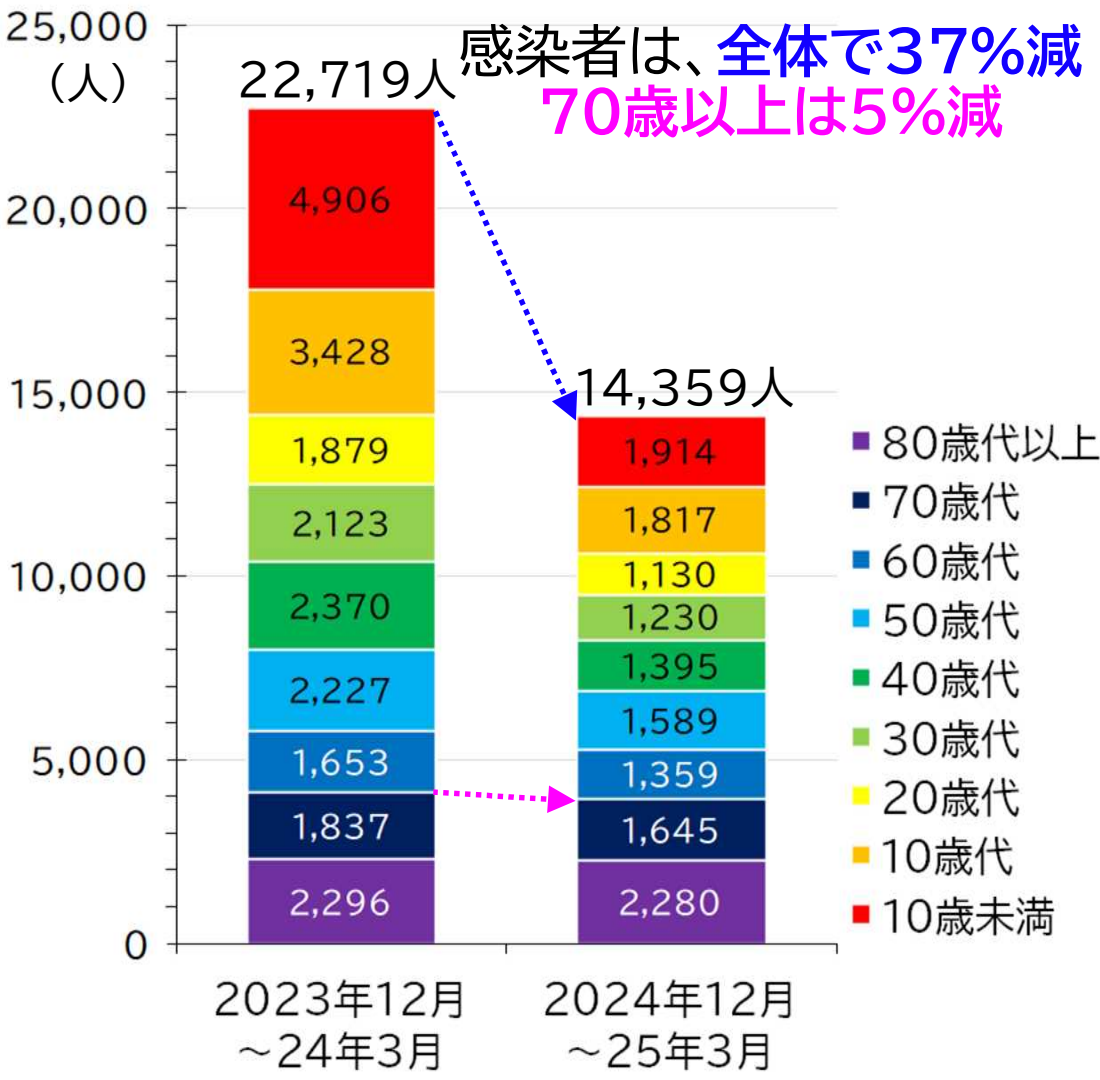


* 入院者数には、院内感染者を含まない

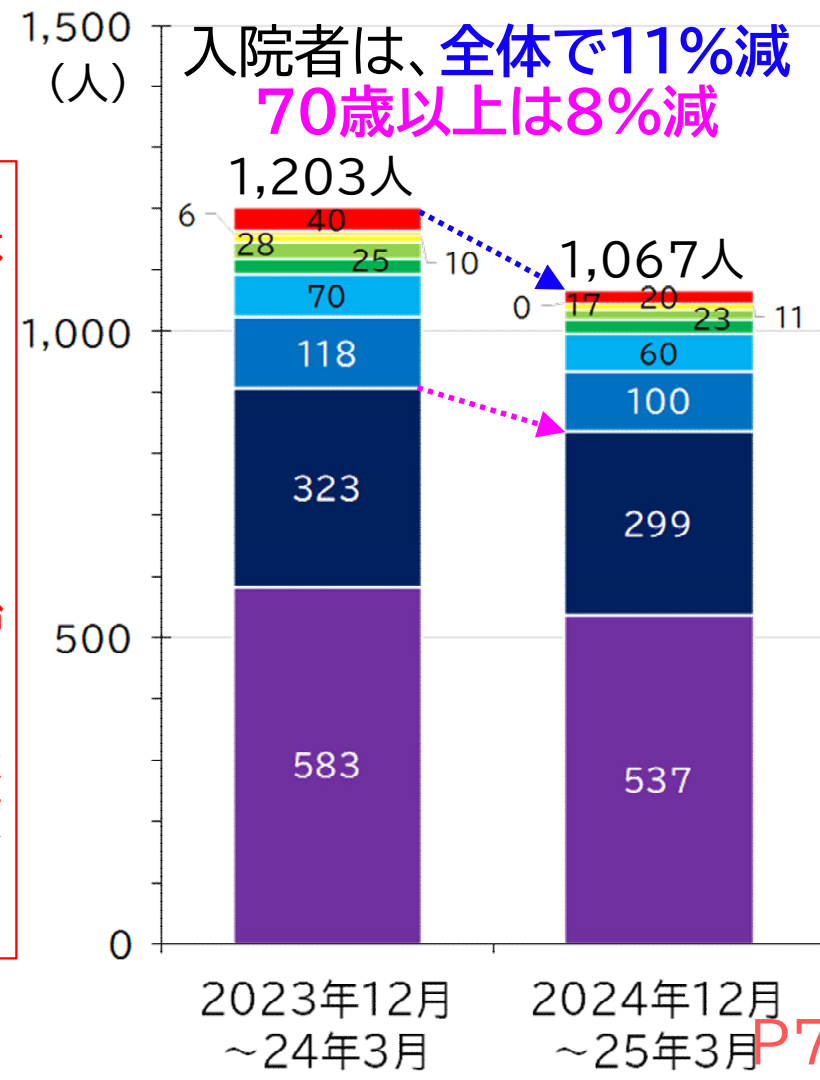
全年代の入院者数*

静岡県 新型コロナ 定点医療機関の2025年冬と2024年冬の感染者数・入院者数の比較

【県内139定点医療機関の感染者総数】

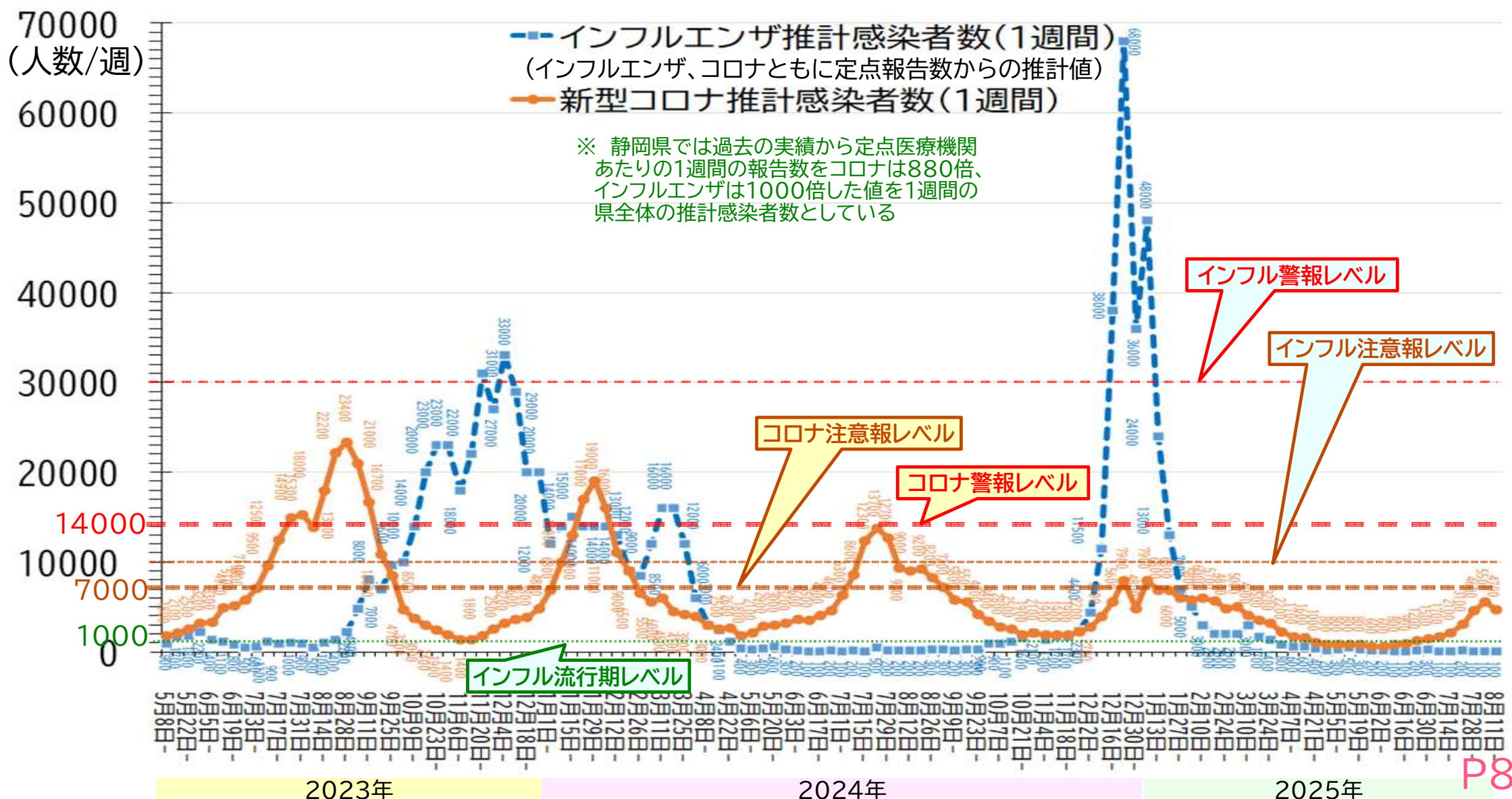


【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】



- コロナ感染者数は、全体では約4割減少したが、高齢者はほとんど減っていない
- コロナ入院者数は、高齢者が約8割を占めているので、全体でも1割程度しか減っていない

静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023. 5/8～2025. 8/17)



麻疹(はしか)って、どんな感染症？

- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチンあり**(麻疹・風疹定期接種2回:1歳と5歳)
- 感染者**数100人に1人は死亡**(江戸時代は「命定め」)
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しくほとんどが入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

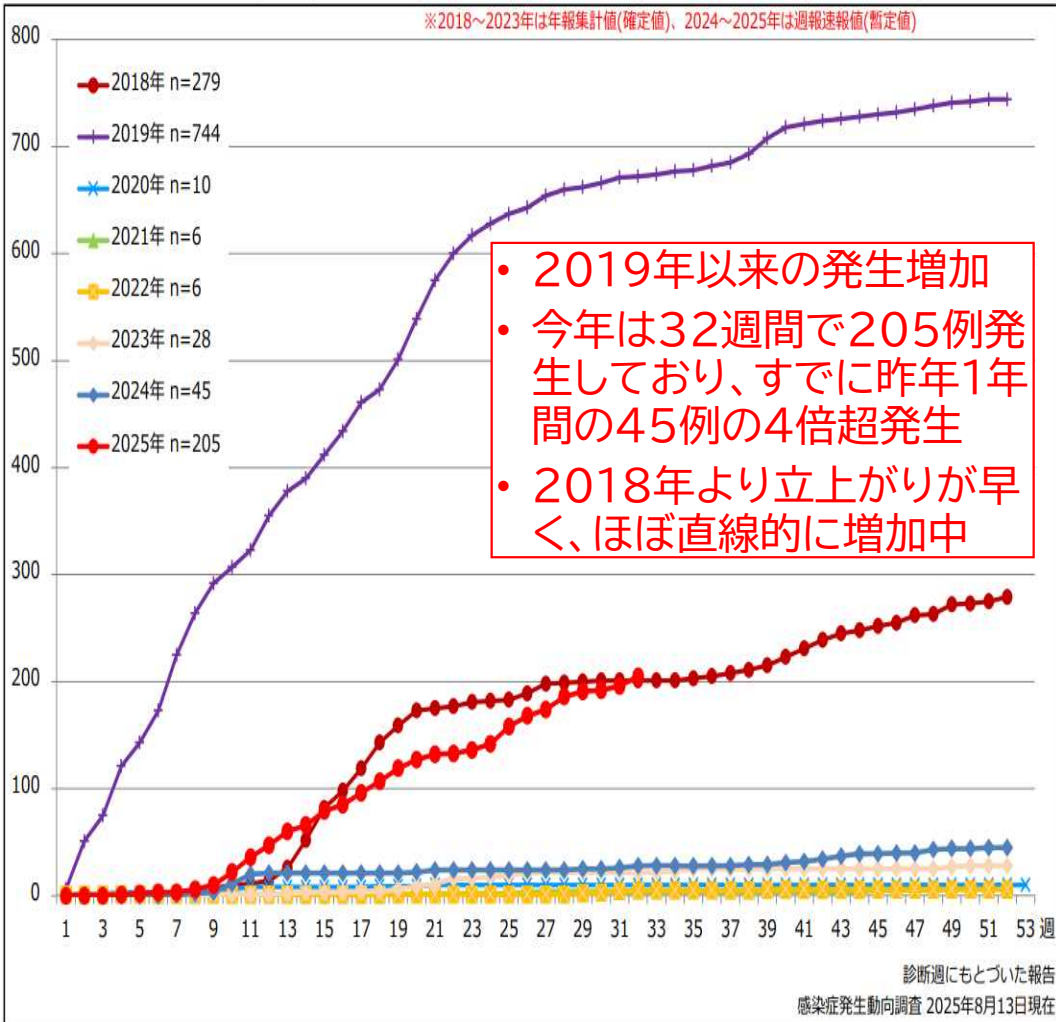
麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

1. 麻疹累積報告数の推移 2018~2025年(第1~32週) (2025年は8月10日まで)

Cumulative measles cases by week, 2018-2025 (week 1-32) (based on diagnosed week as of August 13, 2025)

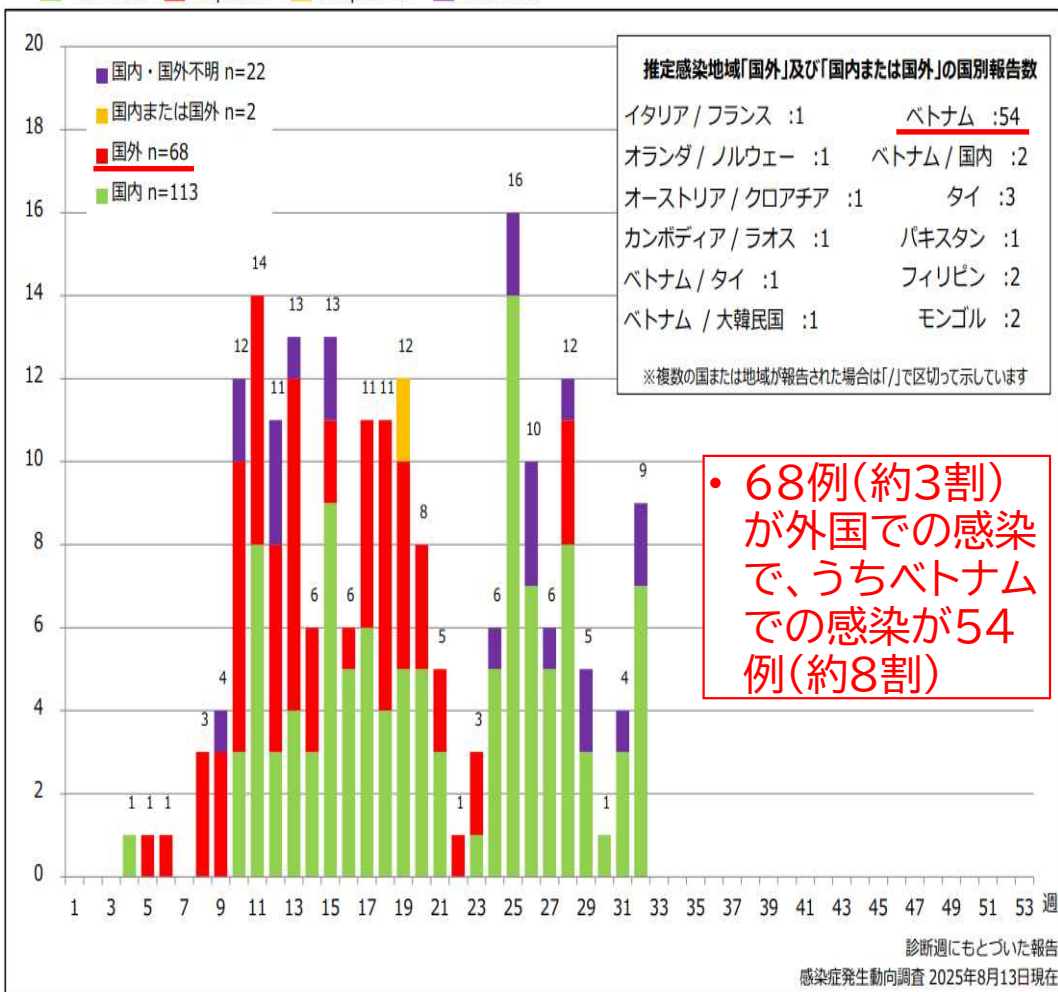
※2018~2023年は年報集計値(確定値)、2024~2025年は週報速報値(暫定値)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2025年 第1~32週 (n=205)(2024年12月30日~25年8月10日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-32, 2025 (based on diagnosed week as of August 13, 2025)

Domestic Imported Unspecified Unknown



<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-32.pdf> より

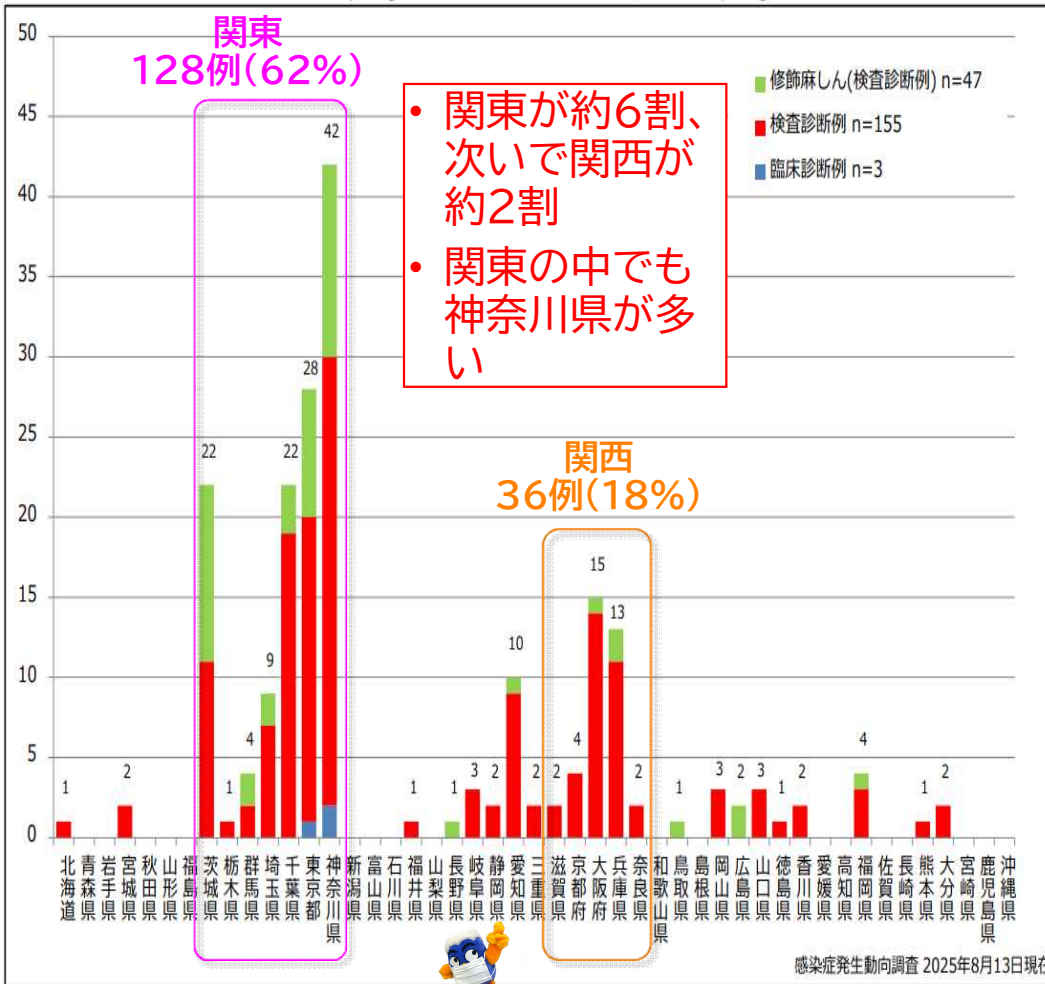
P10

麻しん 今年の国内発生状況②(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

4. 都道府県別病型別麻しん累積報告数 2025年 第1~32週 (n=205) (2024年12月30日~25年8月10日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-32, 2025 (as of August 13, 2025)

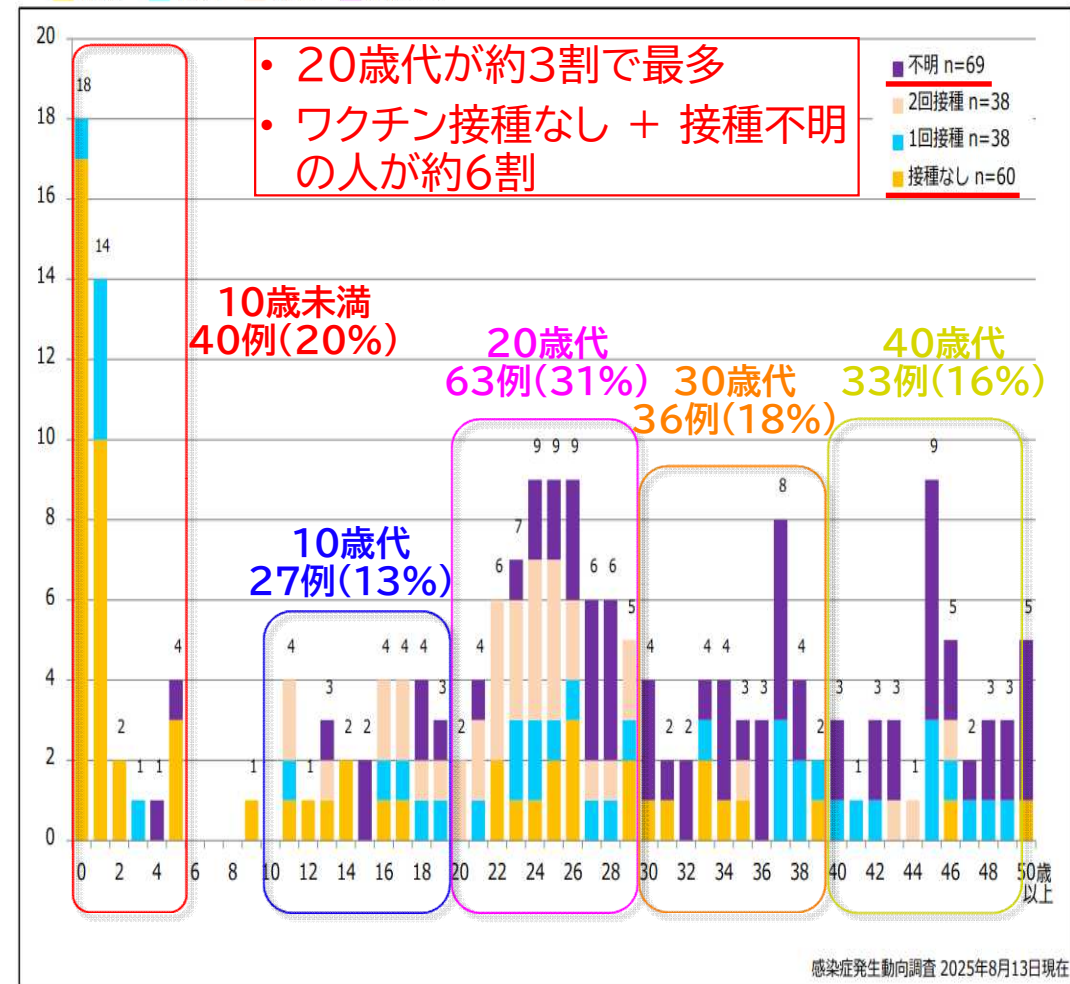
■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



6. 年齢群別接種歴別麻しん累積報告数 2025年 第1~32週 (n=205) (2024年12月30日~25年8月10日)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-32, 2025 (as of August 13, 2025)

■ None ■ MCV1 ■ MCV2 ■ Unknown



<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-32.pdf> より

P11

麻疹に関して県感染症管理センターからのお願い

- **1歳の誕生日がきたら、麻疹・風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！**
- 40歳代以下の方は、**母子手帳で、自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回・1回の方は接種(自費)の検討を！**
 - ※特に、
首都圏・近畿によく行く人
海外、特にベトナムに行く人
外国から来た人とよく接する人

破傷風トキソイドの一部出荷停止について

令和7年7月上旬から、破傷風トキソイドの一部製品について供給が不安定となっており、医療機関において、破傷風トキソイドの入手が困難となっている可能性があります。

破傷風トキソイドは、破傷風菌の毒素を中和し、重症化を防ぐことができるため、怪我をして、傷が深い場合や、汚染されている場合等に、破傷風の発症リスクを減らすために使われることがあります。

海や山等、レジャーに行く機会が増える時期ですが、県民の皆様におかれましては、引き続き、怪我に気を付けていただき、安全に夏を過ごしていただきますようお願い致します。

破傷風とは

土壌や動物の糞便などに存在する破傷風菌が原因で、菌が産生する毒素により、筋肉の麻痺やけいれんを起こし、死亡することもあります。多くは、動物に咬まれた傷や、土や砂で汚れた深い傷から破傷風菌が入って感染します。人から人への感染はありません。潜伏期間は3～21日で平均10日です。国内で年間100人程度の感染者が確認されており、今年は、第33週(8月11日～17日)までに全国で56人、本県で0人です。

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 33 週 令和7年8月11日 ~ 令和7年8月17日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	新型コロナウイルス感染症	61名
2	RSウイルス感染症	15名
3	百日咳	8名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	かわづクリニック	マイコプラズマ肺炎	2	15歳女1名、10歳男1名
賀茂	かわづクリニック	新型コロナウイルス感染症	1	1歳男1名
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	80	
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	26	
熱海	高野医院	インフルエンザA型	4	
熱海	むらかみ小児科クリニック	百日咳	2	7歳女児、8歳女児
熱海	むらかみ小児科クリニック	RSウイルス感染症	3	すべて県外からの来訪者、1名紹介入院
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	百日咳	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	7	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ感染症	5	
東部	窪田医院	インフルエンザB型	1	
東部	窪田医院	新型コロナウイルス感染症	1	
東部	よざ小児科医院	百日咳	1	
東部	よざ小児科医院	咽頭結膜熱	1	
東部	よざ小児科医院	流行性耳下腺炎	1	
東部	よざ小児科医院	新型コロナウイルス感染症	1	
東部	よざ小児科医院	マイコプラズマ感染症	3	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	RSウイルス感染症	4	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	手足口病	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	ヘルパンギーナ	3	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	溶連菌感染症	2	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	1	
御殿場	ファミリークリニックたち小児科医院	RSウイルス感染症	1	
御殿場	ファミリークリニックたち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	29	
静岡市	静岡市立静岡病院	マイコプラズマ肺炎	1	14歳女
静岡市	静岡市立静岡病院	ヒトメタニューモ	1	1歳女
静岡市	静岡市立静岡病院	パラインフルエンザ4型	1	5歳女
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザA型	1	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	1	
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	3	
浜松市	クリニック・パパ	百日咳	2	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	1	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第 33 週

		静岡県							全国				
		第 28 週	第 29 週	第 30 週	第 31 週	第 32 週	今週	年累計	第 30 週	第 31 週	第 32 週	今週	年累計
1 類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核	6	8	8	4	8	8	258	183	240	218	179	8735
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群 (SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ H5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ H7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	32
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	1	4	6	2	28	152	205	155	133	2064
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	18
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	7	8	12	9	6	380
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 類	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	85
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	ギヤサル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	3	0	0	0	0	0	6	7	6	8	5	143
	腎臓機能性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	2	15
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	102
	デング熱	0	1	0	0	0	0	2	2	3	1	5	94
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0	0	17	10	17	21	22	354
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雞しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	12
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	5	1	2	4	0	3	55	32	58	19	50	1412
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	12
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アメーバ赤痢	1	0	1	0	0	0	7	5	9	4	6	289
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	1	0	0	0	0	0	2	4	0	4	2	151
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	0	0	1	0	1	8	13	14	16	16	820
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	20
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	0	0	0	1	1	0	23	4	6	3	4	352
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	3	2	5	2	2	110
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	2	0	0	0	16	22	16	27	14	948
	機天性免疫不全症候群	0	1	0	1	0	0	9	11	20	6	6	526
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	25
	慢性的インフルエンザ菌感染症	0	1	0	0	0	0	12	3	10	5	6	470
	慢性的髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	62
	慢性的肺炎球菌感染症	0	0	0	0	1	0	85	21	26	25	19	2521
	水痘 (入院例に限る)	0	0	0	0	0	0	9	6	5	7	15	440
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	6	6	1	4	1	0	197	147	180	169	118	8734
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	1	0	2	2	104
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	3	56
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	1	59
	百日咳	84	69	61	76	56	40	1149	3399	3599	3211	1506	66655
	風しん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8
	麻疹	1	0	0	0	0	0	2	1	4	9	5	209
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。(「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2025 第 33 週

		静岡県							全国				
		第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	今週	計	第30週	第31週	第32週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	23	42	39	64	78	91	337	1,239	1,629	1,976	1,358	6,202
	咽頭結膜熱	34	38	42	29	38	19	200	1,061	1,041	970	534	3,606
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	109	131	79	93	96	51	559	3,775	4,221	4,009	2,093	14,098
	感染性胃腸炎	450	372	332	346	392	195	2,087	9,880	11,236	10,572	5,296	36,984
	水痘	7	14	21	14	6	12	74	799	722	593	430	2,544
	手足口病	39	44	36	29	28	17	193	1,380	1,474	1,335	752	4,941
	伝染性紅斑	236	242	215	245	232	151	1,321	4,423	4,583	4,756	2,495	16,257
	突発性発しん	28	20	21	40	34	17	160	785	795	793	496	2,869
	ヘルパンギーナ	57	57	72	117	112	74	489	3,852	4,517	3,880	1,645	13,894
	流行性耳下腺炎	6	2	8	6	3	3	28	125	104	112	83	424
小・内科	インフルエンザ	19	18	24	19	18	18	116	1,223	1,153	1,131	980	4,487
	新型コロナウイルス感染症	269	338	490	730	871	750	3,448	15,924	21,365	23,126	22,288	82,703
眼科	急性出血性結膜炎								10	9	16	11	46
	流行性角結膜炎	11	13	14	15	11	11	75	580	630	570	420	2,200
基幹	細菌性髄膜炎	1						1	4	12	9	5	30
	無菌性髄膜炎			1			2	3	32	41	26	30	129
	マイコプラズマ肺炎	6	4	4	5	7	7	33	401	478	590	558	2,027
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								4	1	2		7
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								9	1	2	2	14

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2025 第 33 週

		静岡県						全国			
		第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	今週	第30週	第31週	第32週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.26	0.47	0.44	0.72	0.88	1.02	0.53	0.69	0.86	0.63
	咽頭結膜熱	0.38	0.43	0.47	0.33	0.43	0.21	0.45	0.44	0.42	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.22	1.47	0.89	1.04	1.08	0.57	1.60	1.79	1.74	0.97
	感染性胃腸炎	5.06	4.18	3.73	3.89	4.40	2.19	4.19	4.77	4.59	2.46
	水痘	0.08	0.16	0.24	0.16	0.07	0.13	0.34	0.31	0.26	0.20
	手足口病	0.44	0.49	0.40	0.33	0.31	0.19	0.59	0.63	0.58	0.35
	伝染性紅斑	2.65	2.72	2.42	2.75	2.61	1.70	1.88	1.95	2.07	1.16
	突発性発しん	0.31	0.22	0.24	0.45	0.38	0.19	0.33	0.34	0.34	0.23
	ヘルパンギーナ	0.64	0.64	0.81	1.31	1.26	0.83	1.63	1.92	1.69	0.77
	流行性耳下腺炎	0.07	0.02	0.09	0.07	0.03	0.03	0.05	0.04	0.05	0.04
小・内科	インフルエンザ	0.14	0.13	0.17	0.14	0.13	0.13	0.32	0.30	0.30	0.28
	新型コロナウイルス感染症	1.94	2.43	3.53	5.25	6.27	5.40	4.12	5.53	6.13	6.30
眼科	急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.02	0.02
	流行性角結膜炎	0.50	0.59	0.64	0.68	0.50	0.50	0.83	0.90	0.86	0.67
基幹	細菌性髄膜炎	0.10						0.01	0.02	0.02	0.01
	無菌性髄膜炎			0.10			0.20	0.07	0.09	0.05	0.06
	マイコプラズマ肺炎	0.60	0.40	0.40	0.50	0.70	0.70	0.83	0.99	1.23	1.16
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01	0.00	0.00	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.02	0.00	0.00	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症保健所別集計表

第 33 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	91	1.02	19	0.21	51	0.57	195	2.19	12	0.13
賀茂										
熱海	3	0.75	5	1.25	1	0.25	12	3.00		
東部	17	1.31	5	0.38	13	1.00	20	1.54	2	0.15
御殿場	2	0.50	2	0.50	3	0.75	11	2.75		
富士	7	0.78			4	0.44	4	0.44		
静岡市	19	1.19	3	0.19	11	0.69	32	2.00		
中部	5	0.45	1	0.09	4	0.36	48	4.36	3	0.27
西部	22	1.83	1	0.08	4	0.33	33	2.75	3	0.25
浜松市	16	0.89	2	0.11	11	0.61	35	1.94	4	0.22

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	17	0.19	151	1.70	17	0.19	74	0.83	3	0.03
賀茂										
熱海			18	4.50			2	0.50		
東部	2	0.15	25	1.92	2	0.15	18	1.38	1	0.08
御殿場	1	0.25	7	1.75	3	0.75	4	1.00	1	0.25
富士	1	0.11	7	0.78	1	0.11	3	0.33		
静岡市	4	0.25	16	1.00	5	0.31	5	0.31		
中部	4	0.36	13	1.18	2	0.18	6	0.55		
西部	4	0.33	17	1.42	2	0.17	13	1.08	1	0.08
浜松市	1	0.06	48	2.67	2	0.11	23	1.28		

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	18	0.13	750	5.40	8.0	16.0	89	50
賀茂	2	0.67	22	7.33	13.0	26.0	2	1
熱海	4	0.67	77	12.83	9.0	18.0	4	2
東部	2	0.10	104	5.20	8.0	16.0	13	7
御殿場	1	0.17	83	13.83	17.0	34.0	4	2
富士			73	4.87	11.0	22.0	9	6
静岡市	3	0.12	88	3.52	6.0	12.0	16	9
中部	3	0.18	113	6.65	8.0	16.0	11	6
西部	1	0.05	111	5.84	10.0	20.0	12	7
浜松市	2	0.07	79	2.82	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第 33 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		11	0.50	0		2	0.20	7	0.70
賀茂										
熱海									2	2.00
東部			5	1.25					2	2.00
御殿場										
富士			2	0.67			1	1.00		
静岡市			1	0.20			1	0.50	1	0.50
中部										
西部			2	0.50					1	1.00
浜松市			1	0.33					1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2025 第 33 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	18	17	37	12	5		2														91
咽頭結膜熱		2	2	2	3	1	4	1	2	1	1										19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	4	7	7	9	4	5	3	2	4		3							51
感染性胃腸炎	1	12	28	33	25	15	13	13	9	7	7	19	1	12							195
水痘							1	1		1	2	7									12
手足口病		3	8	2		1		1	1	1											17
伝染性紅斑			10	10	16	14	29	22	18	14	6	11		1							151
突発性発しん		7	9		1																17
ヘルパンギーナ		6	25	19	6	3	4	6	4		1										74
流行性耳下腺炎					1				1			1									3
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ					1		1		1	2		3		4	1		3	1		1	18
新型コロナウイルス感染症	23	14	24	17	10	9	2	9	6	4	2	24	28	69	61	70	97	78	104	99	750
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																					0
流行性角結膜炎			1			1	1	1	1						4				2		11
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎																					0
無菌性髄膜炎					1										1						2
マイコプラズマ肺炎		2	4	1																	7
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0

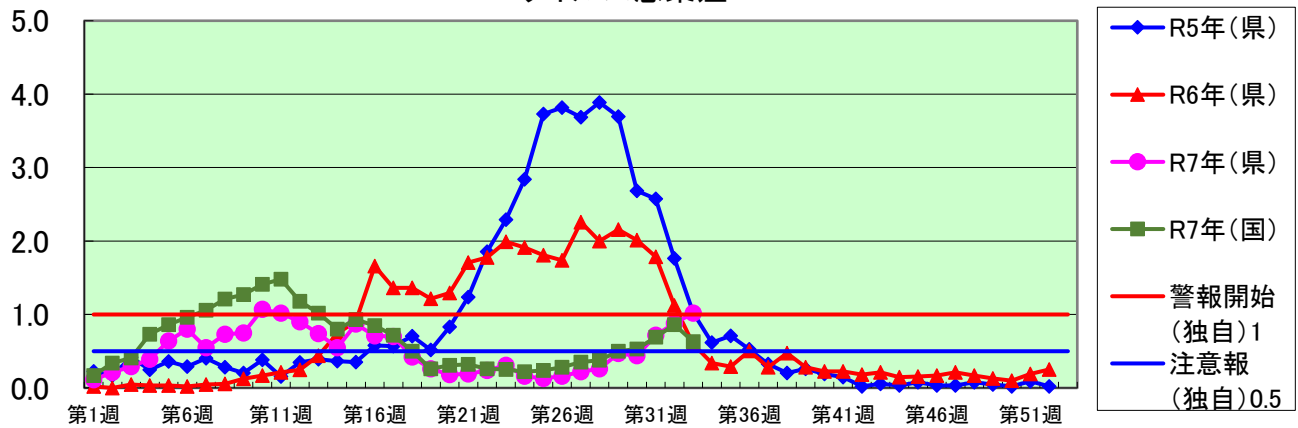
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2025 第 33 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	0.20	0.19	0.42	0.13	0.06		0.02														1.02
咽頭結膜熱		0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.04	0.01	0.02	0.01	0.01										0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.02	0.04	0.08	0.08	0.10	0.04	0.06	0.03	0.02	0.04		0.03							0.57
感染性胃腸炎	0.01	0.13	0.31	0.37	0.28	0.17	0.15	0.15	0.10	0.08	0.08	0.21	0.01	0.13							2.19
水痘							0.01	0.01		0.01	0.02	0.08									0.13
手足口病		0.03	0.09	0.02		0.01		0.01	0.01	0.01											0.19
伝染性紅斑			0.11	0.11	0.18	0.16	0.33	0.25	0.20	0.16	0.07	0.12		0.01							1.70
突発性発しん		0.08	0.10		0.01																0.19
ヘルパンギーナ		0.07	0.28	0.21	0.07	0.03	0.04	0.07	0.04		0.01										0.83
流行性耳下腺炎					0.01				0.01			0.01									0.03
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ					0.01		0.01		0.01	0.01		0.02		0.03	0.01		0.02	0.01		0.01	0.13
新型コロナウイルス感染症	0.17	0.10	0.17	0.12	0.07	0.06	0.01	0.06	0.04	0.03	0.01	0.17	0.20	0.50	0.44	0.50	0.70	0.56	0.75	0.71	5.40
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																				0	0.00
流行性角結膜炎			0.05			0.05	0.05	0.05	0.05						0.19				0.10	0	0.50
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎																					0.00
無菌性髄膜炎					0.10										0.10						0.20
マイコプラズマ肺炎		0.20	0.40	0.10																	0.70
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0.00

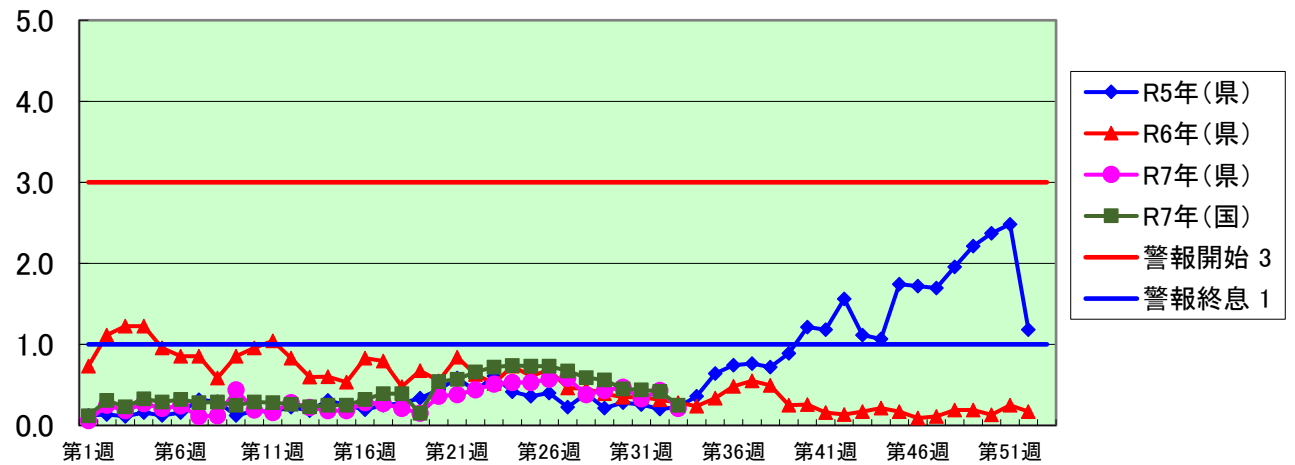
(定点当たり患者数)

RSウイルス感染症



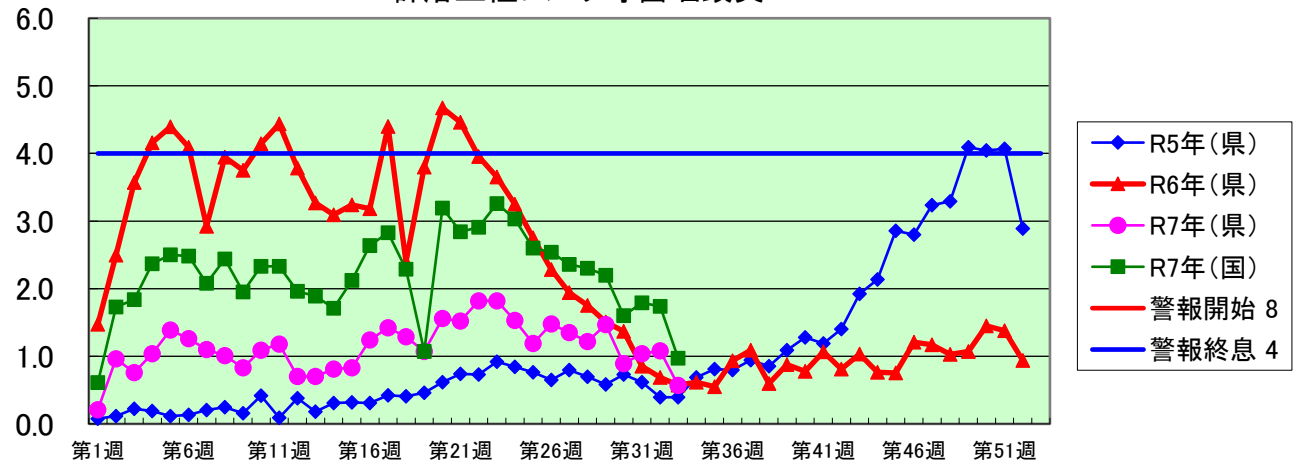
(定点当たり患者数)

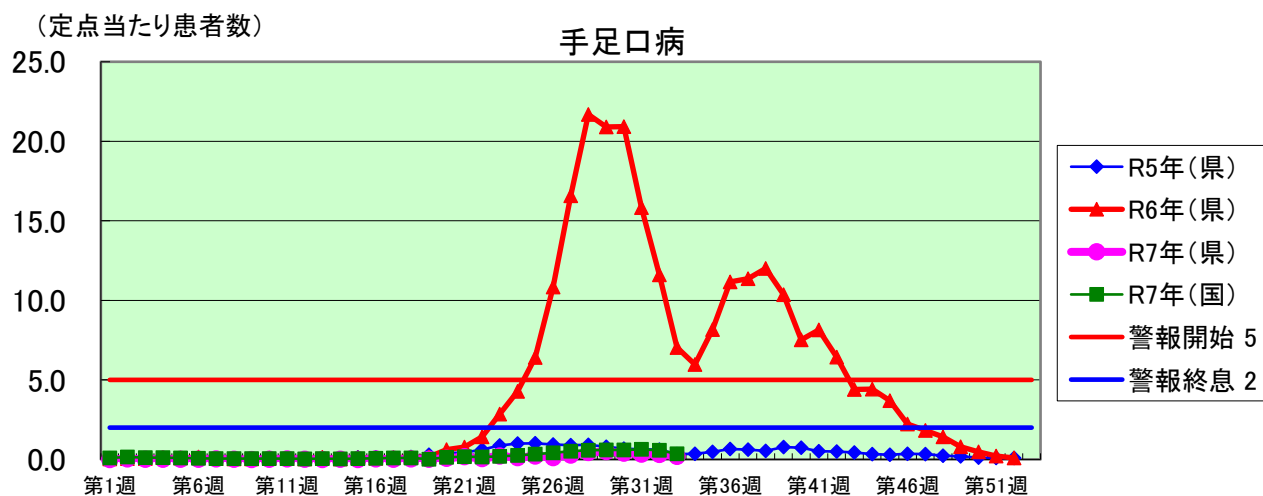
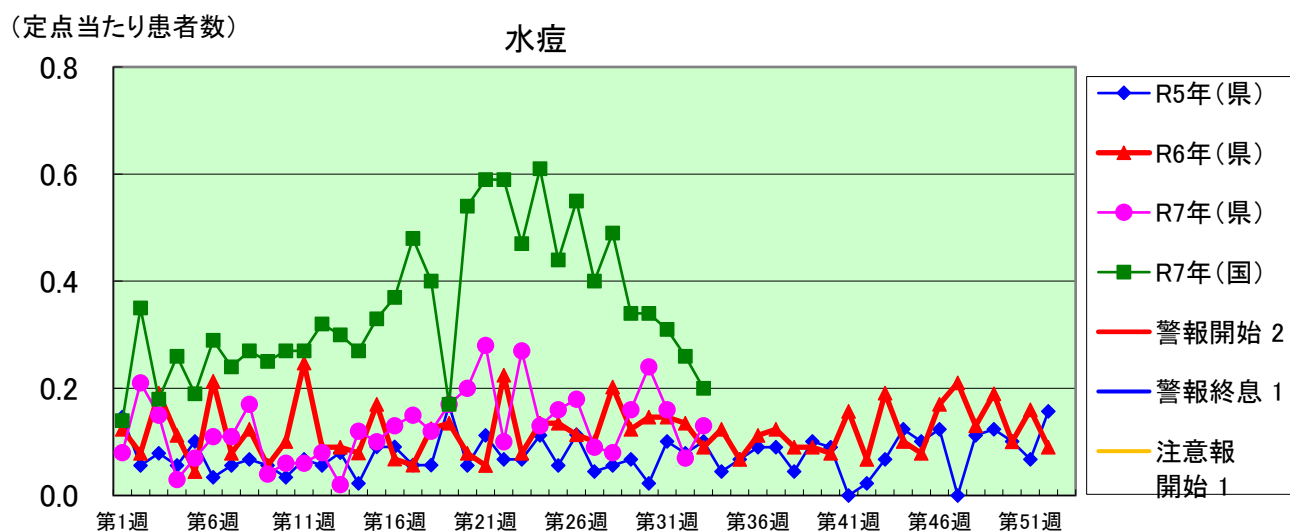
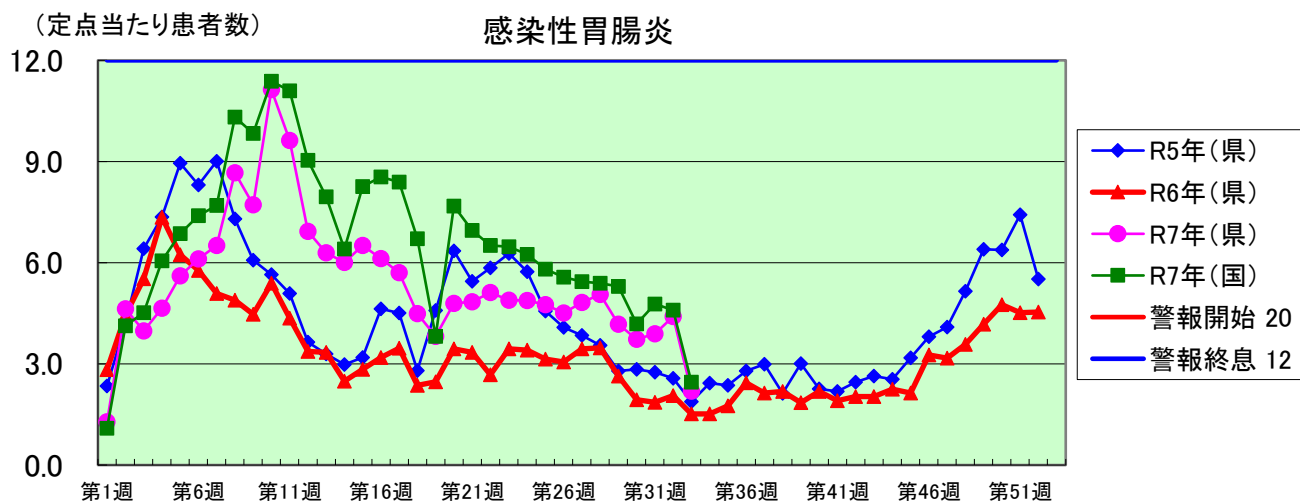
咽頭結膜熱

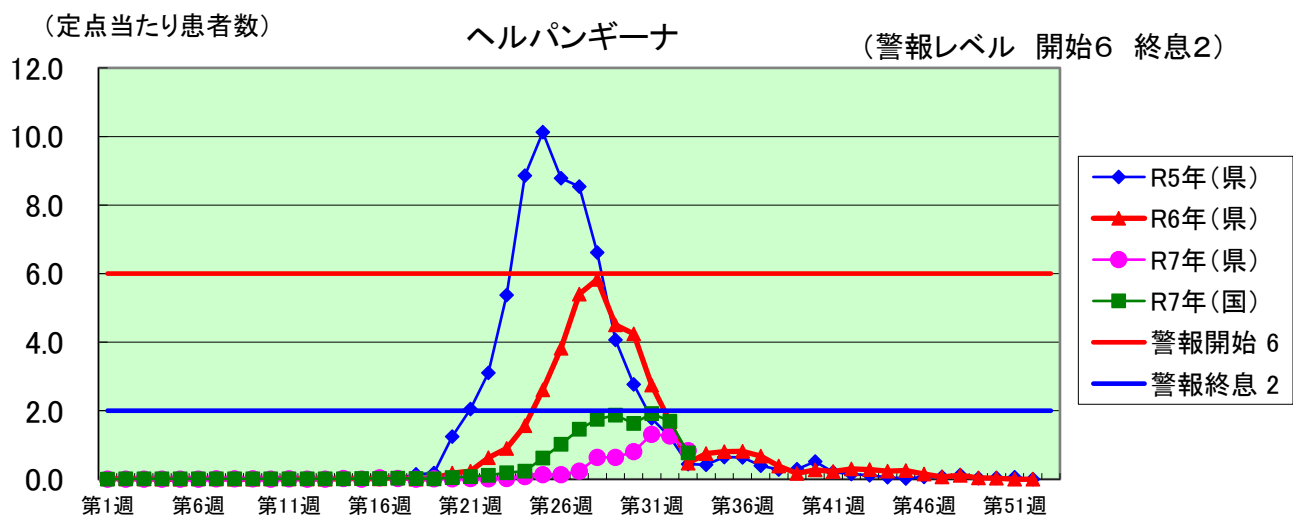
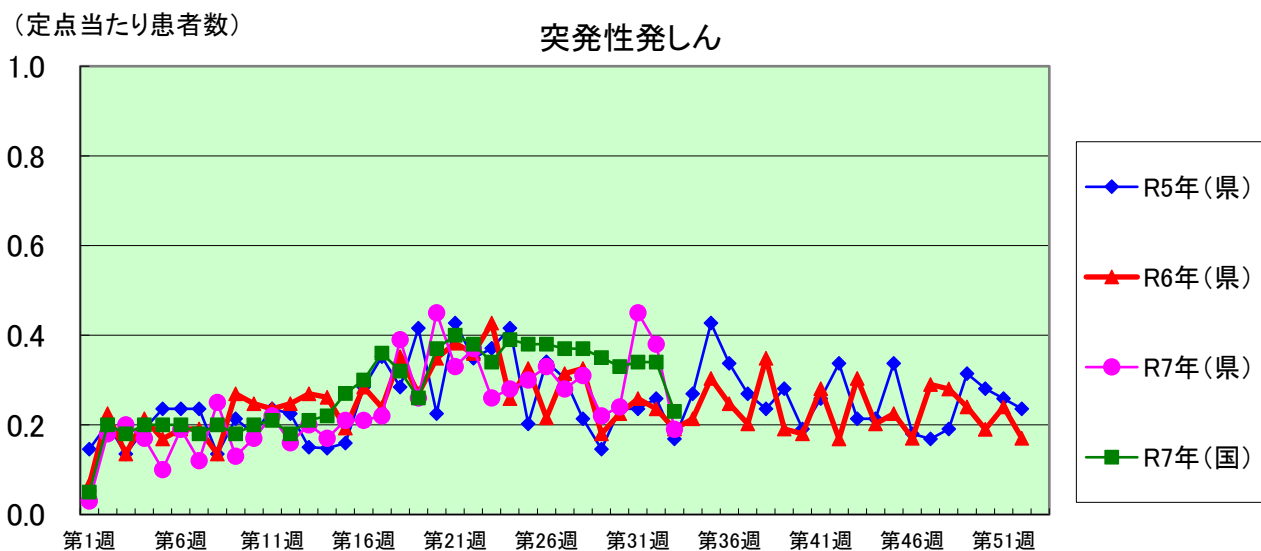
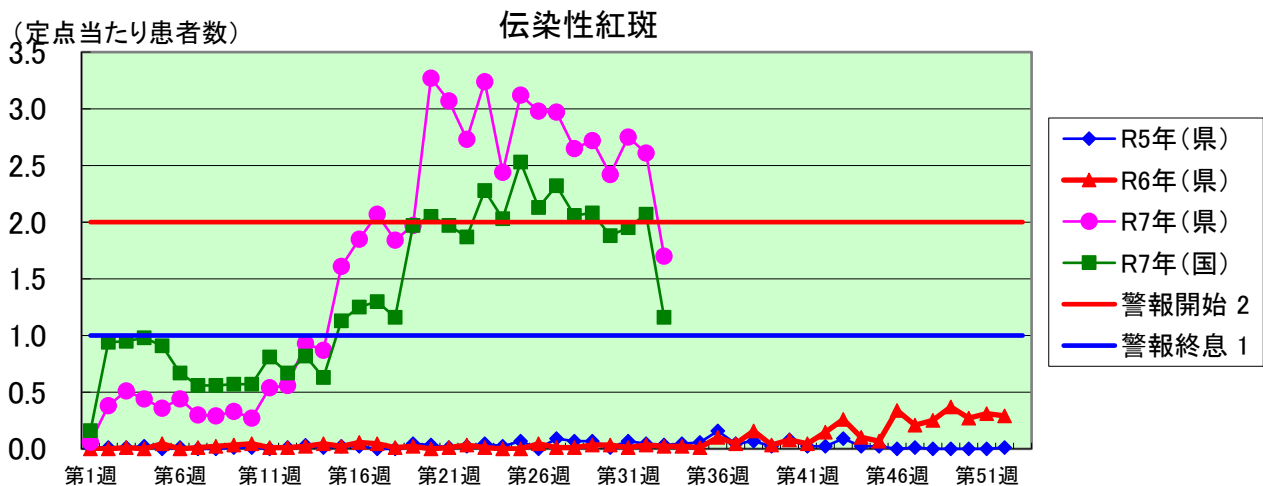


(定点当たり患者数)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

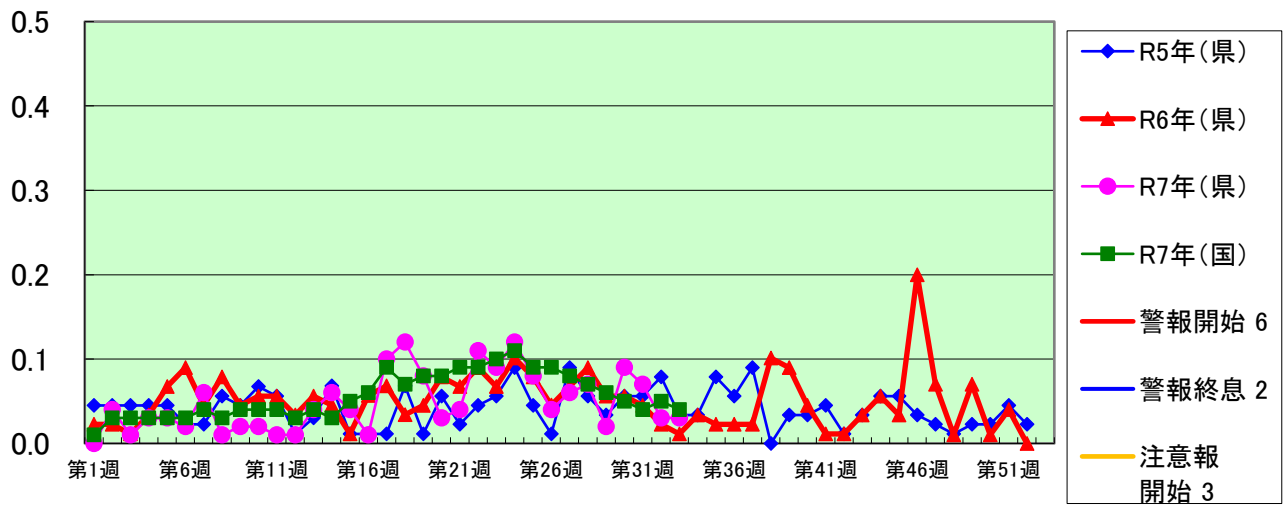






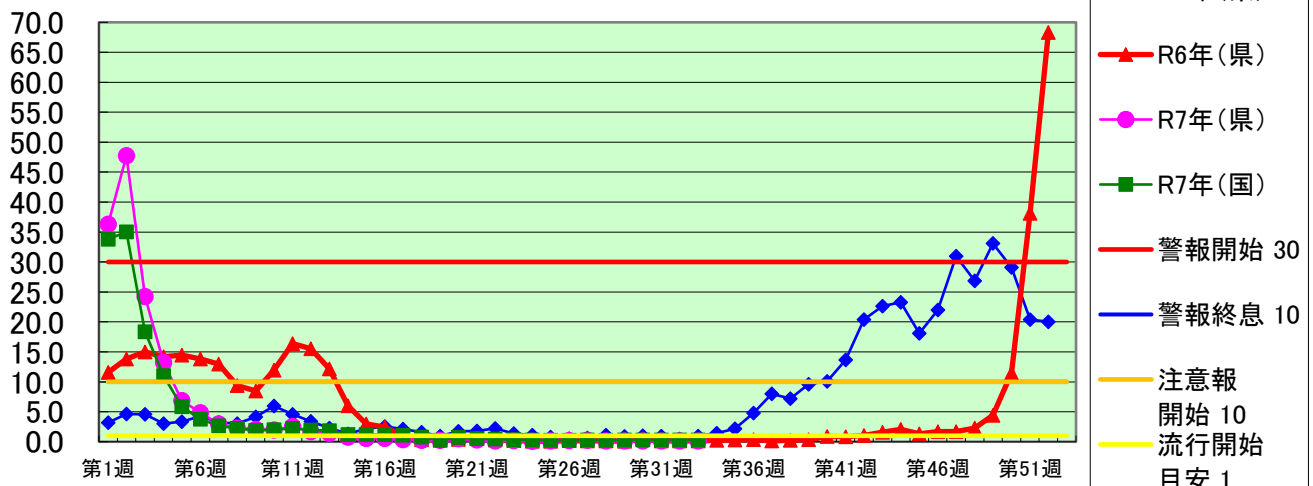
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



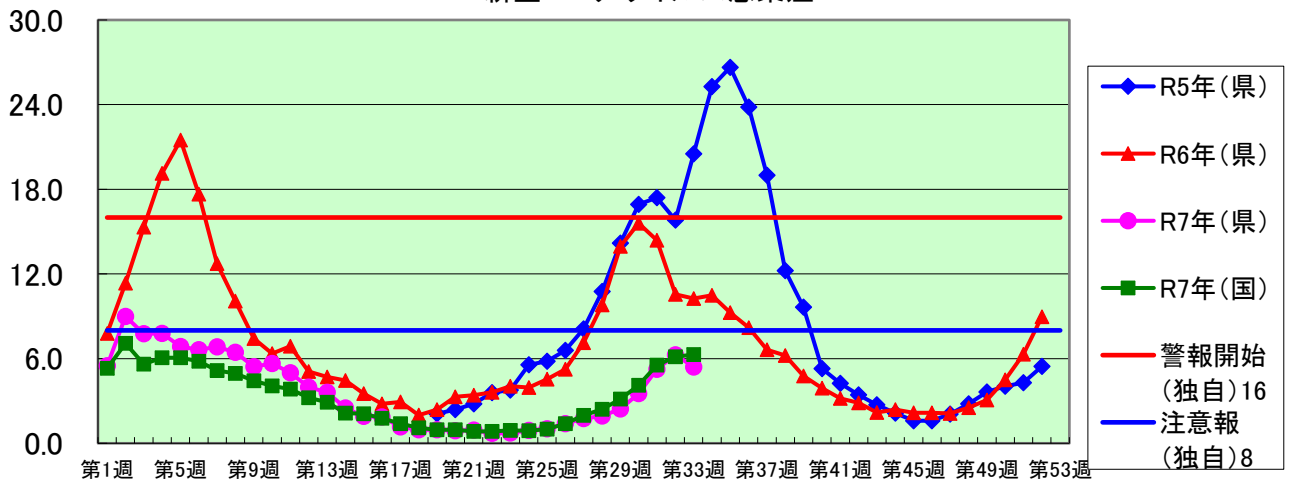
(定点当たり患者数)

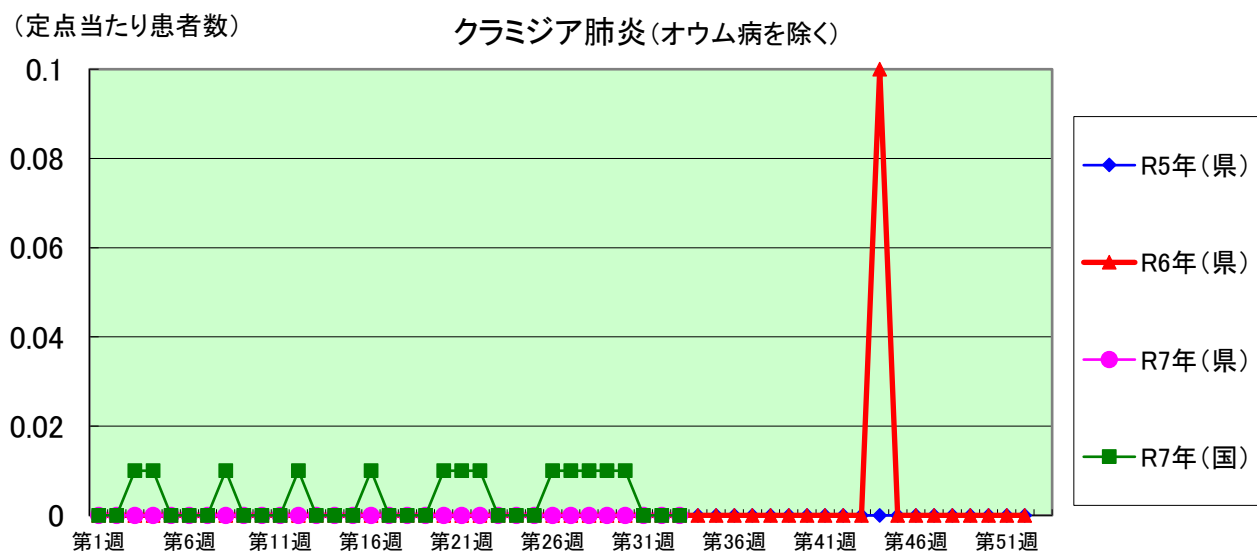
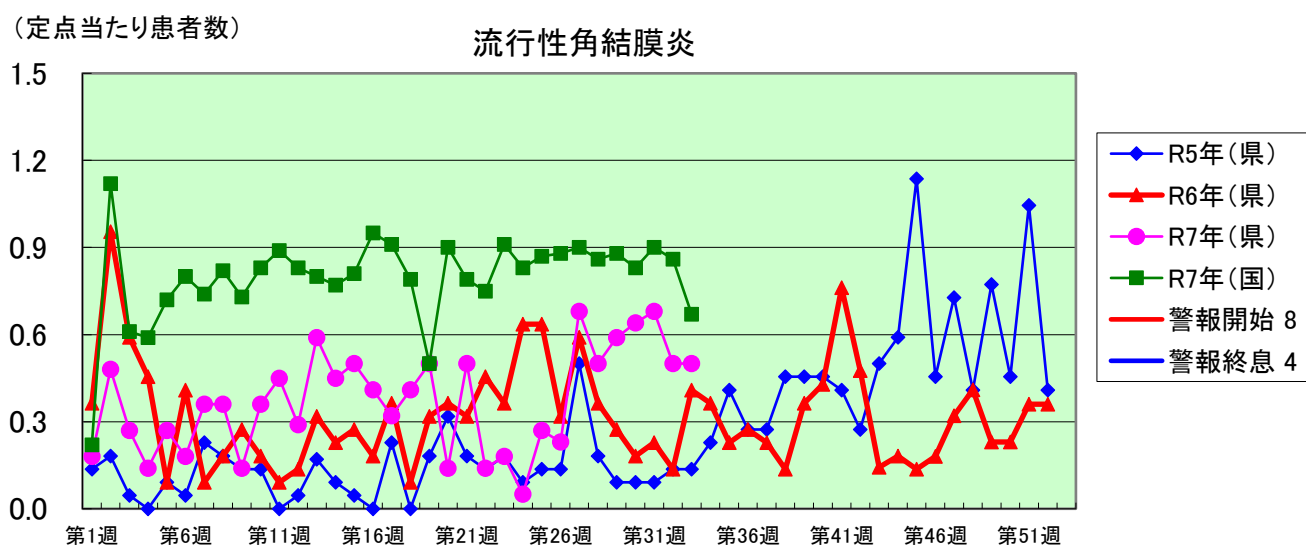
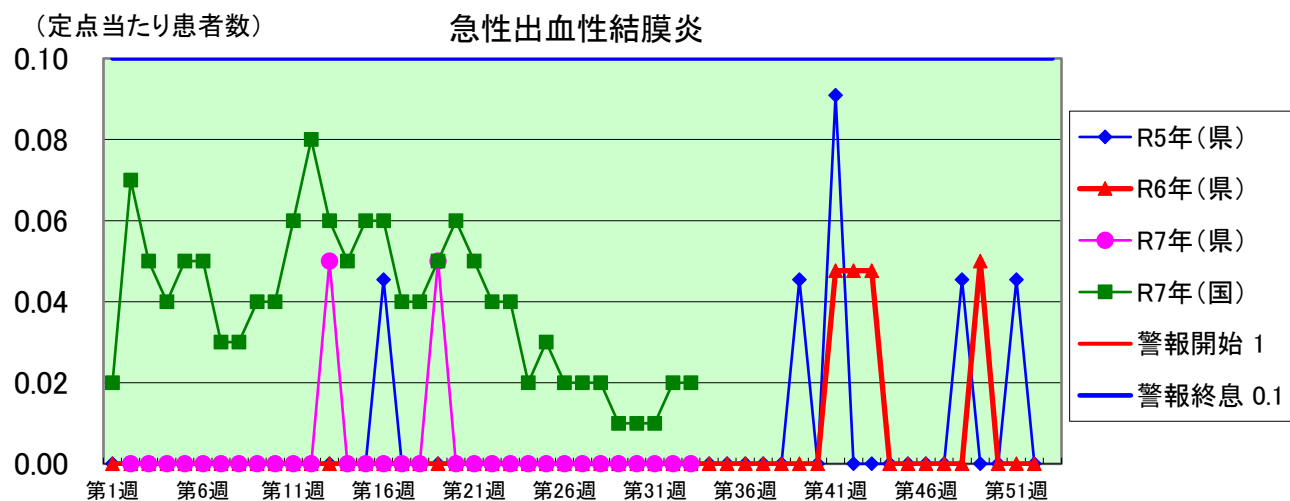
インフルエンザ



(定点当たり患者数)

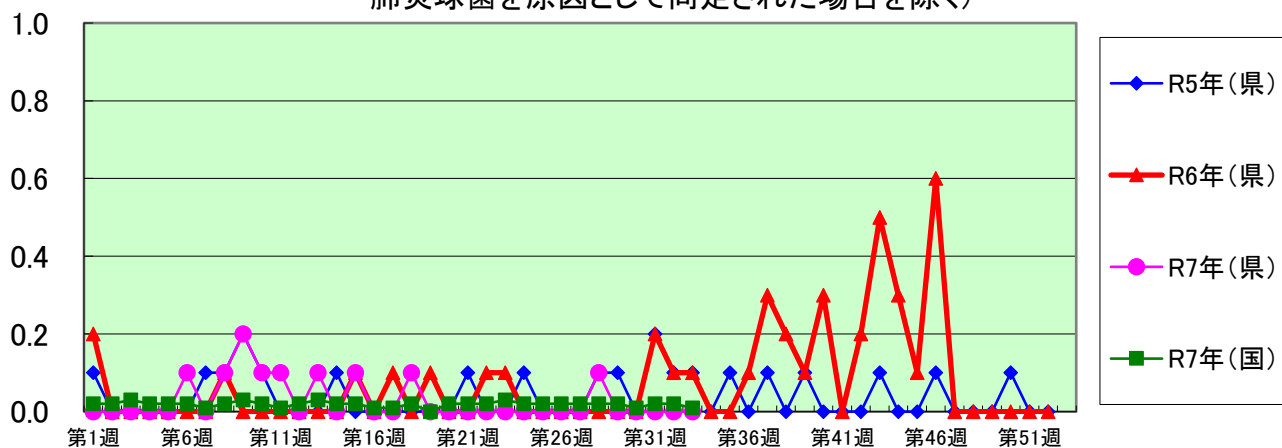
新型コロナウイルス感染症





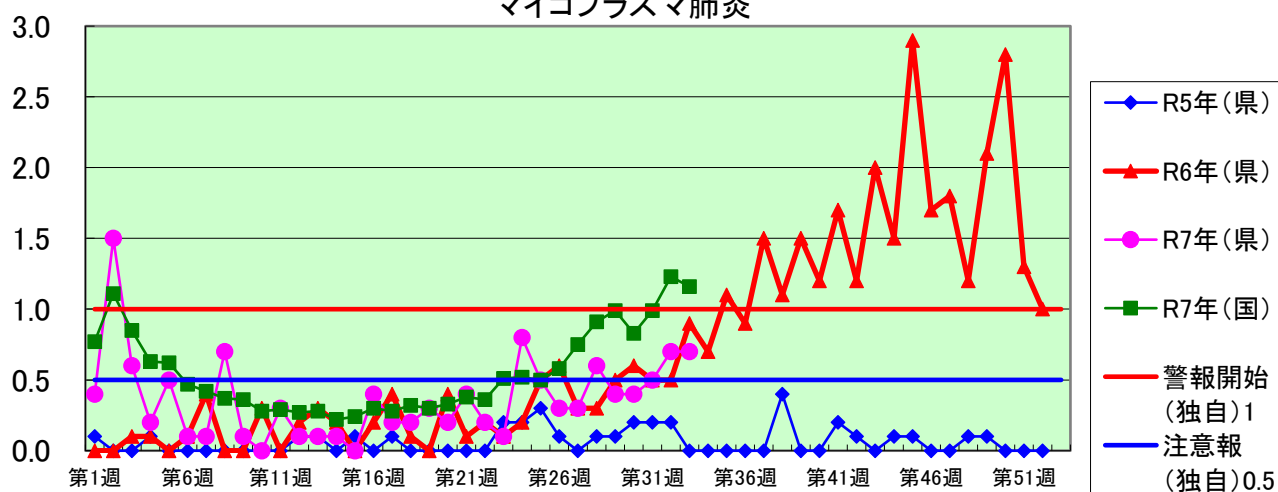
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

（定点当たり患者数）



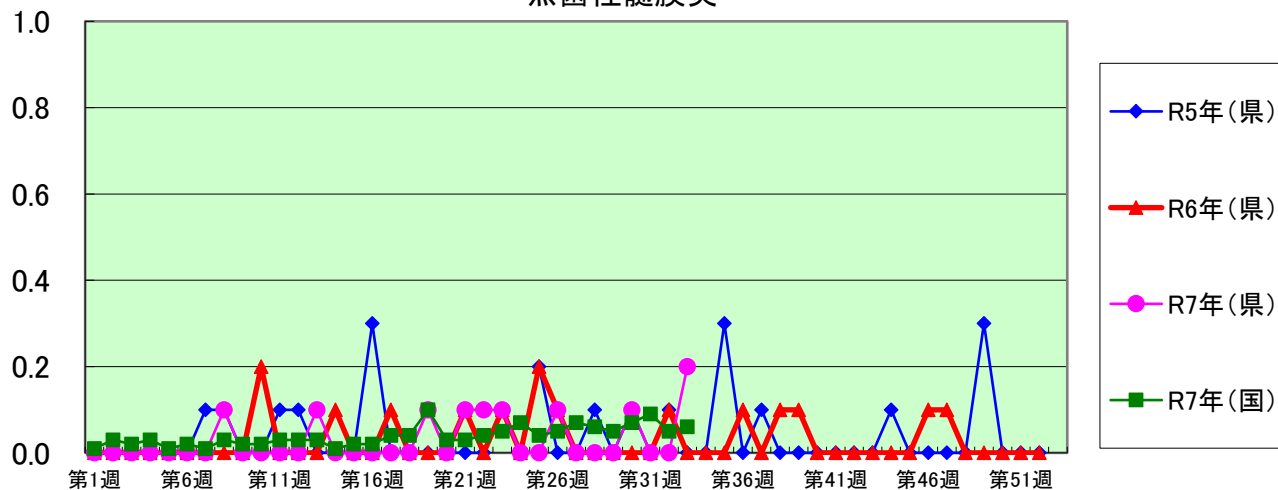
マイコプラズマ肺炎

（定点当たり患者数）



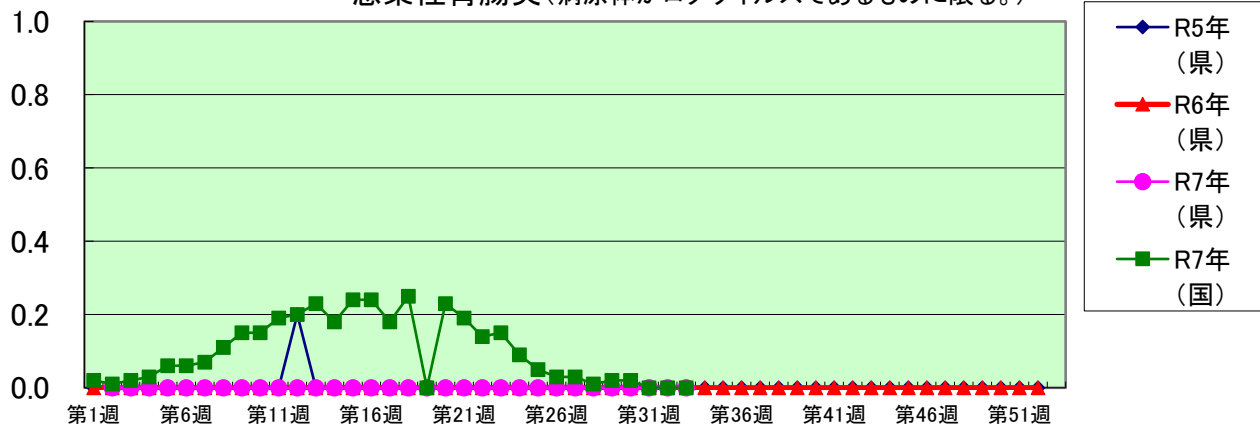
無菌性髄膜炎

（定点当たり患者数）



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年 7 月

	静岡県							全国				
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	計	4月	5月	6月	今月	計
性器クラミジア感染症	32	27	30	41	39	42	211	2,307	2,413	2,545	2,588	9,853
性器ヘルペスウイルス感染症	19	15	13	10	15	9	81	873	884	928	946	3,631
尖圭コンジローマ	8	8	12	11	16	11	66	524	523	585	610	2,242
淋菌感染症	5	4	11	10	9	6	45	612	704	713	782	2,811
性器クラミジア感染症(男)	10	9	11	13	9	17	69	1,178	1,231	1,278	1,316	5,003
性器クラミジア感染症(女)	22	18	19	28	30	25	142	1,129	1,182	1,267	1,272	4,850
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	3	2	5	3	8	3	24	298	337	353	387	1,375
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	16	13	8	7	7	6	57	575	547	575	559	2,256
尖圭コンジローマ(男)	5	3	6	6	6	-	26	355	358	391	432	1,536
尖圭コンジローマ(女)	3	5	6	5	10	11	40	169	165	194	178	706
淋菌感染症(男)	3	3	9	8	5	5	33	468	526	531	623	2,148
淋菌感染症(女)	2	1	2	2	4	1	12	144	178	182	159	663
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36	25	30	25	21	17	154	1,313	1,258	1,192	1,337	5,100
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	1	-	1	-	-	2	41	40	37	30	148
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	10	5	10	13	38

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年 7 月

	静岡県						全国			
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	4月	5月	6月	今月
性器クラミジア感染症	1.07	0.90	1.00	1.37	1.30	1.40	2.39	2.47	2.60	2.63
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.50	0.43	0.33	0.50	0.30	0.90	0.90	0.95	0.96
尖圭コンジローマ	0.27	0.27	0.40	0.37	0.53	0.37	0.54	0.53	0.60	0.62
淋菌感染症	0.17	0.13	0.37	0.33	0.30	0.20	0.63	0.72	0.73	0.80
性器クラミジア感染症(男)	0.33	0.30	0.37	0.43	0.30	0.57	1.22	1.26	1.31	1.34
性器クラミジア感染症(女)	0.73	0.60	0.63	0.93	1.00	0.83	1.17	1.21	1.29	1.29
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.10	0.07	0.17	0.10	0.27	0.10	0.31	0.34	0.36	0.39
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.53	0.43	0.27	0.23	0.23	0.20	0.59	0.56	0.59	0.57
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.10	0.20	0.20	0.20	-	0.37	0.37	0.40	0.44
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.17	0.20	0.17	0.33	0.37	0.17	0.17	0.20	0.18
淋菌感染症(男)	0.10	0.10	0.30	0.27	0.17	0.17	0.48	0.54	0.54	0.63
淋菌感染症(女)	0.10	0.17	0.20	0.17	0.33	0.37	0.15	0.18	0.19	0.16
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.60	2.50	3.00	2.50	2.10	1.70	2.75	2.63	2.49	2.78
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	0.10	-	0.10	-	-	0.09	0.08	0.08	0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	0.02	0.01	0.02	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2025年 7 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	42	1.40	9	0.30	11	0.37	6	0.20
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-
東部	3	0.60	-	-	-	-	-	-
御殿場	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-
富士	3	1.00	1	0.33	-	-	1	0.33
静岡市	11	1.83	5	0.83	3	0.50	2	0.33
中部	7	1.75	-	-	-	-	3	0.75
西部	10	2.00	-	-	-	-	-	-
浜松市	4	0.80	1	0.20	8	1.60	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	17	1.70	-	-	-	-
賀茂	1	1.00	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...	...	...
富士	-	-	-	-	-	-
静岡市	8	4.00	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-
西部	2	2.00	-	-	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

7 月

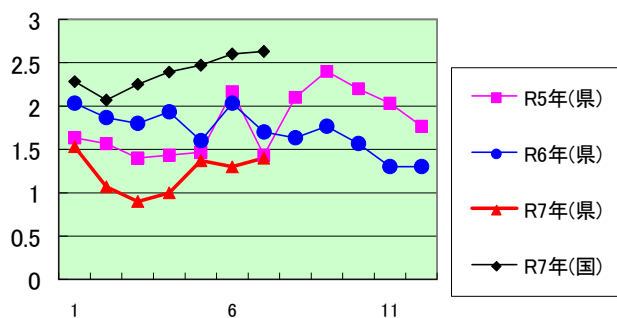
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

7 月

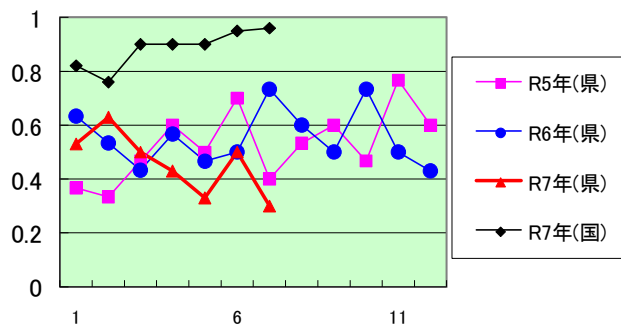
[illegible]

定点把握感染症(月報)推移グラフ

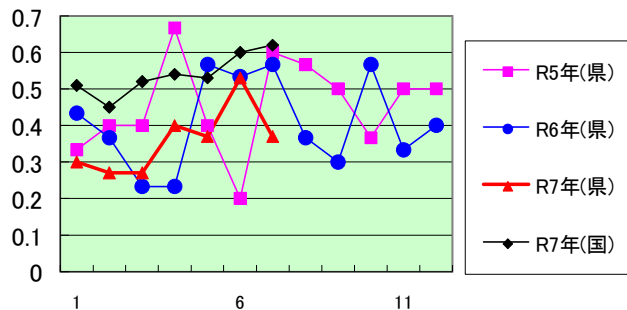
性器クラミジア感染症



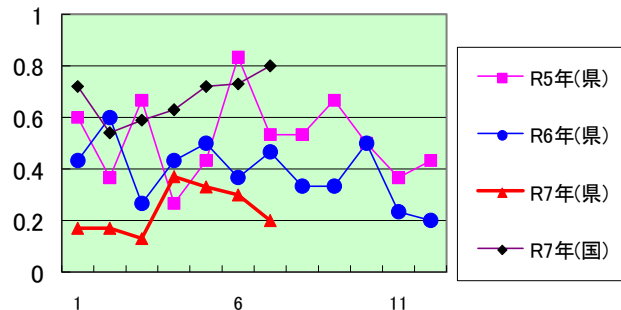
性器ヘルペスウイルス感染症



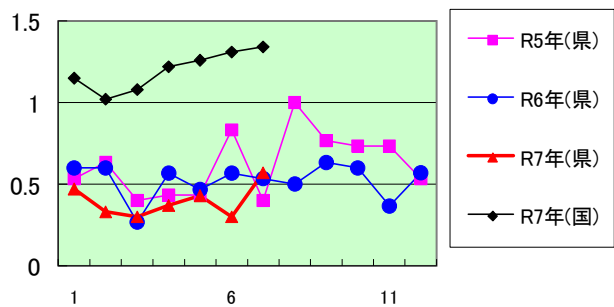
尖圭コンジローマ



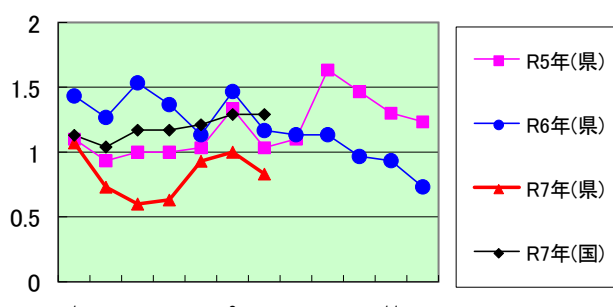
淋菌感染症



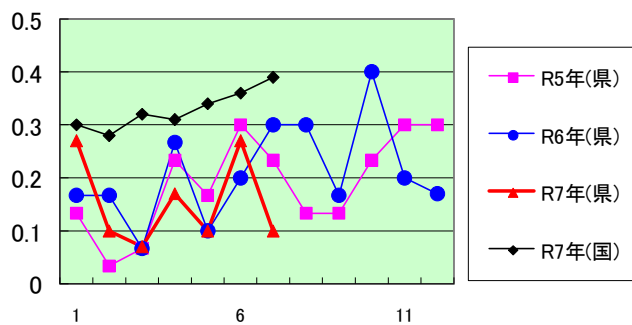
性器クラミジア感染症(男)



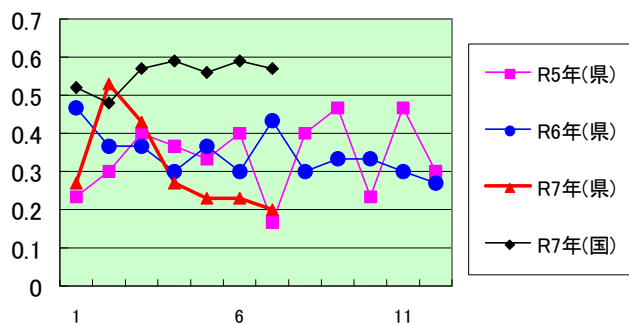
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

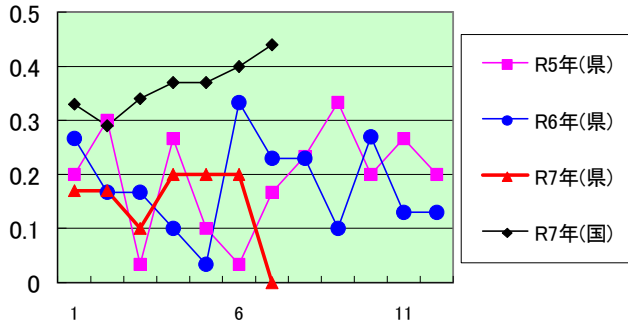


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

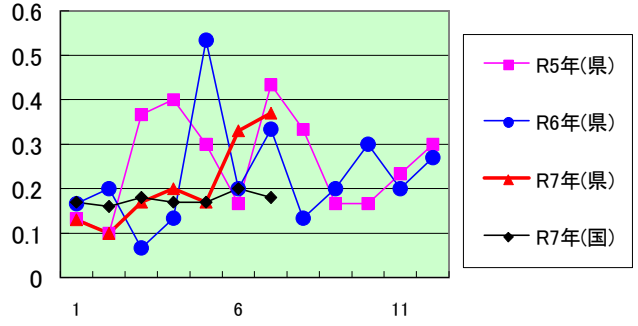


定点把握感染症(月報)推移グラフ

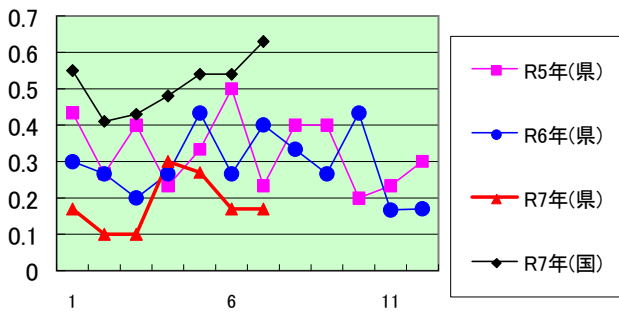
尖圭コンジローマ(男)



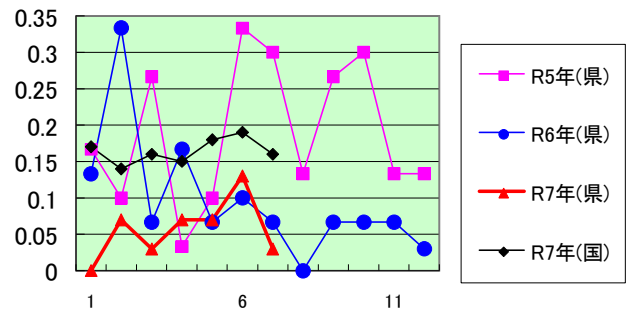
尖圭コンジローマ(女)



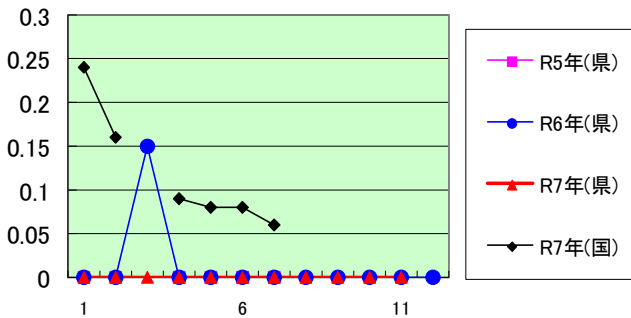
淋菌感染症(男)



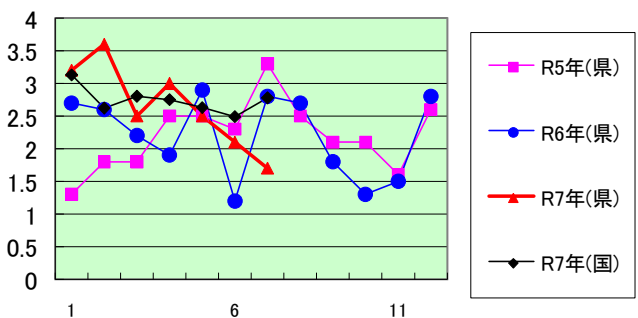
淋菌感染症(女)



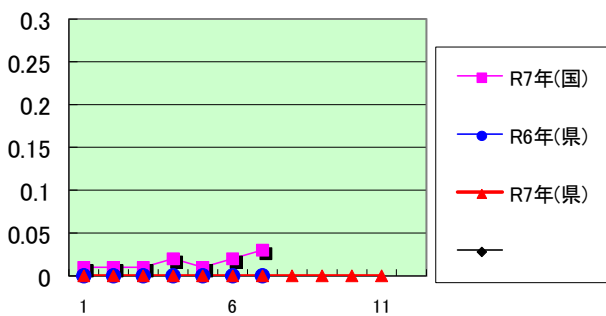
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症

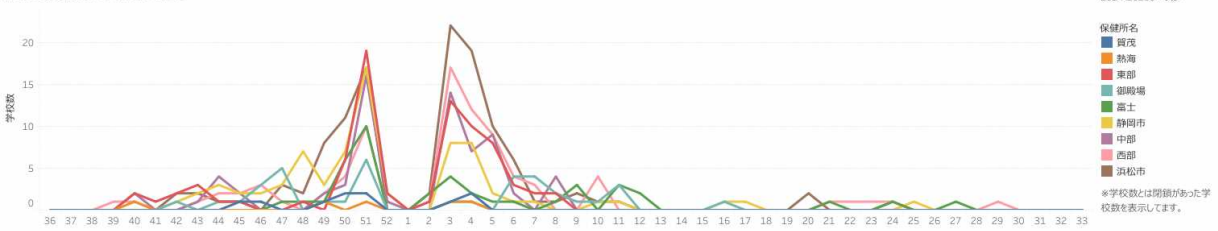


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

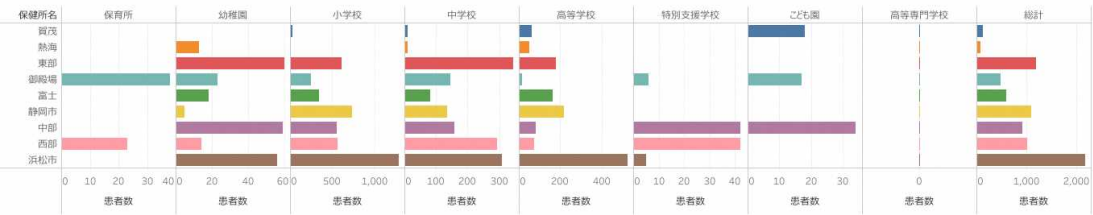
インフルエンザ施設別発生状況（学級閉鎖）表2025年 第33週

保健所名 市町		保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		こども園		高等専門学校		総計	
		患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校	患者	学校
賀茂	下田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱海	伊東市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	沼津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
御殿場	御殿場市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士	富士宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富士市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡市	静岡市葵区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡市駿河区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡市清水区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部	吉田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	牧之原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浜松市	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浜松市中央区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

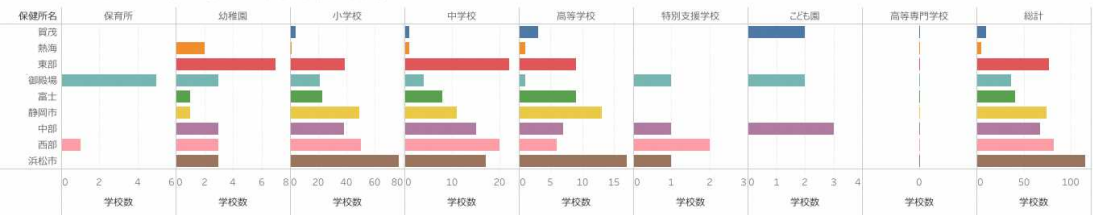
保健所別閉鎖学校数の推移



インフルエンザ施設別発生状況（シーズン患者数累計）



インフルエンザ施設別発生状況（シーズン閉鎖学校数累計）



新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

4月中旬～5月下旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

結果判明日：6月9日（月）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株 (内BA.2) (内BA.5) (内組換体)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)	11 (7)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(3)	(4)

本県の変異株の判明状況（6月22日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,271	6,411	2,480	2,380
	(前回からの増加数)	(20)	(11)	(0)	(9)
	デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,860	5,155	1,832
		(前回からの増加数)	(20)	(11)	(9)
	※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	2,132	1,110	560
		(前回からの増加数)	(9)	(7)	(2)
	※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	889	521	106
		(前回からの増加数)	(11)	(4)	(7)

※県：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（6月22日時点）

※3月24日～6月22日分については、結果判明日ではなく、検体採取日で分けています

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換え体	BA. 2	BA. 5	組換え体
5月27日（月）～ 6月23日（日）	40	40	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月24日（月）～ 7月21日（日）	90	90	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
7月22日（月）～ 8月25日（日）	116	116	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
8月26日（月）～ 9月22日（日）	107	106	0	1	99.1%	0.0%	0.9%
9月23日（月）～ 10月20日（日）	27	26	0	1	96.3%	0.0%	3.7%
10月21日（月）～ 11月24日（日）	31	31	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
11月25日（月）～ 12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
2月24日（月）～ 3月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%
3月24日（月）～ 4月20日（日）	11	3	0	8	37.5%	0.0%	62.5%
4月21日（月）～ 5月25日（日）	5	2	0	3	37.5%	0.0%	62.5%
5月26日（月）～ 6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（3月24日（月）～4月20日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
JN. 1	1	9.1%
NB. 1. 8. 1	0	0.0%
KP. 3	2	18.2%
その他のKP	0	0.0%
XEC	8	72.7%
その他	0	0.0%
計	11	100.0%

XEC系統8件のうち、XECが最多で5件